

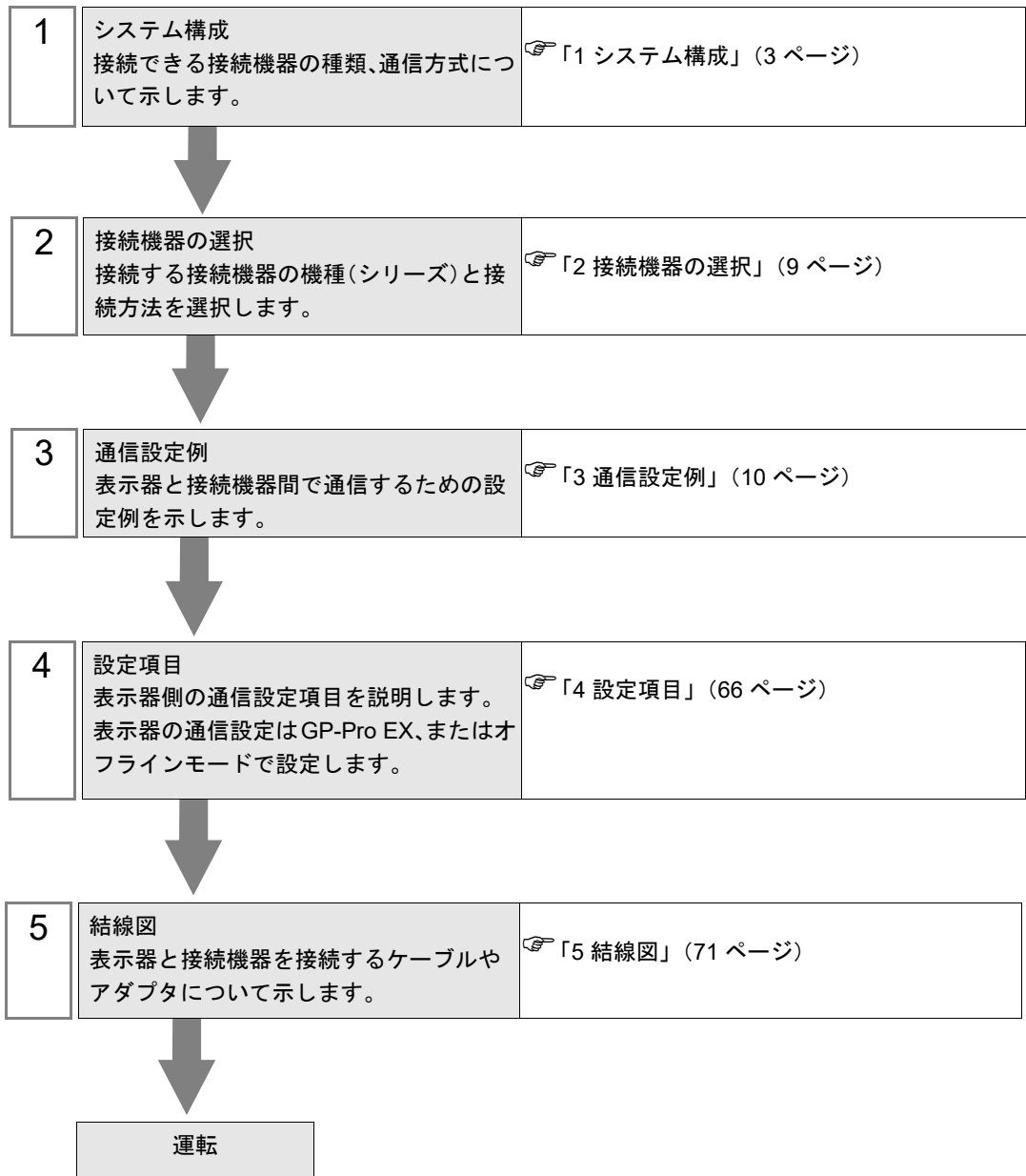
調節計 MODBUS SIO ドライバ

1	システム構成.....	3
2	接続機器の選択.....	9
3	通信設定例.....	10
4	設定項目.....	66
5	結線図.....	71
6	使用可能デバイス.....	126
7	デバイスコードとアドレスコード.....	136
8	エラーメッセージ.....	137

はじめに

本書は表示器と接続機器（対象 PLC）を接続する方法について説明します。

本書では接続方法を以下の順に説明します。



1 システム構成

(株) チノー製接続機器と表示器を接続する場合のシステム構成を示します。

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
DB	DB1□□□B■□□-□□□ *1	CPU ユニット上のポート	RS-232C	「設定例 1」 (10 ページ)	「結線図 1」 (71 ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例 2」 (12 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 3」 (14 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)
	DB2□□□□□□■-□□□ *2	CPU ユニット上のポート	RS-232C	「設定例 4」 (16 ページ)	「結線図 1」 (71 ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例 5」 (18 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 6」 (20 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)
KP	KP1□□□C■□□-□□□ *1	CPU ユニット上のポート	RS-232C	「設定例 7」 (22 ページ)	「結線図 1」 (71 ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例 8」 (24 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 9」 (26 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)
	KP2□□□□□□■-□□□ *2	CPU ユニット上のポート	RS-232C	「設定例 10」 (28 ページ)	「結線図 1」 (71 ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例 11」 (30 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 12」 (32 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)
	KP3□0C□□■-□□□ *2	CPU ユニット上のポート	RS-232C	「設定例 13」 (34 ページ)	「結線図 1」 (71 ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例 14」 (36 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 15」 (38 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)

シリーズ	CPU	リンク I/F	通信方式	設定例	結線図
LT	LT23□□□■00-□□□ *3	CPU ユニット上のポート	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 16」 (40 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
	LT3□□□□■□0-□□□ *1	CPU ユニット上のポート	RS-232C	「設定例 17」 (42 ページ)	「結線図 1」 (71 ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例 18」 (44 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 19」 (46 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)
	LT4□□□□■□□-□□□ *1 *4	CPU ユニット上のポート	RS-232C	「設定例 20」 (48 ページ)	「結線図 1」 (71 ページ)
			RS-422/485 (2 線式)	「設定例 21」 (50 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)
LT830□□□000-■□□ *5	CPU ユニット上のポート	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 23」 (54 ページ)	「結線図 3」 (87 ページ)	
JU	JU□□□□□□□513 *6 JU□□□□□□□613 *7	CPU ユニット上のポート	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 24」 (56 ページ)	「結線図 5」 (113 ページ)
			設定通信ユニット	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 25」 (58 ページ)
	JU□□□□□□□■□□ *8 *9	RS-422/485 (4 線式)		「設定例 26」 (60 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)
JW	JW□□□□□□□■□□ *8	設定通信ユニット	RS-422/485 (2 線式)	「設定例 27」 (62 ページ)	「結線図 4」 (100 ページ)
			RS-422/485 (4 線式)	「設定例 28」 (64 ページ)	「結線図 2」 (74 ページ)

*1 CPU の型式で ■ の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。
R (RS-232C)、A (RS-422A)、S (RS-485)

*2 CPU の型式で ■ の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。
R (RS-232C)、A (RS-422A)、S (RS-485)、B (RS-232C + RS-232C)、C (RS-232C + RS-422A)、
D (RS-232C + RS-485)、E (RS-485 + RS-232C)、F (RS-485 + RS-422A)、G (RS-485 + RS-485)

*3 CPU の型式で ■ の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。
S または 2 (RS-485)

*4 表示器と通信させるためには、LT400 シリーズは製造番号 LT4037**** 以降のものを使用してください。製造番号 LT4036**** 以前のものを使用した場合はエラーが表示されます。

*5 CPU の型式で ■ の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。
2 (RS-485)

*6 調節機能付き<ユニット間マスター> JU シリーズです。

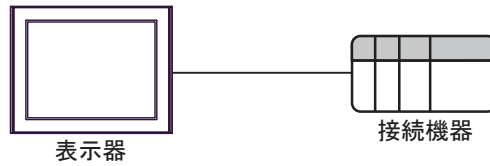
*7 調節機能無し<ユニット間スレーブ> JU シリーズです。
表示器と通信させるためには調節機能付き<ユニット間マスター> JU シリーズ (JU□□□□□□□513) を接続し、マスターとスレーブをユニット間通信させる必要があります。ユニット間通信の方法については接続機器のマニュアルを参照してください。

*8 CPU の型式で ■ の部分が以下の記号の接続機器のみ使用できます。
3 または 4 (RS-422A、RS-485)

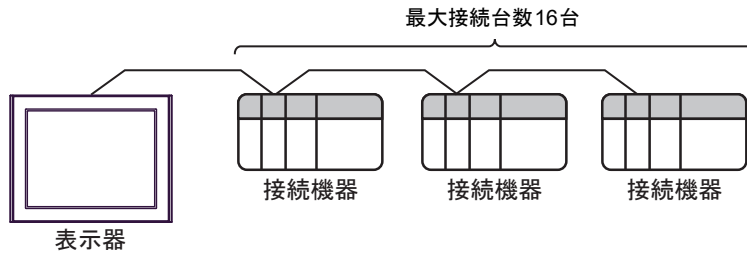
*9 単相の JU シリーズです。

■ 接続構成

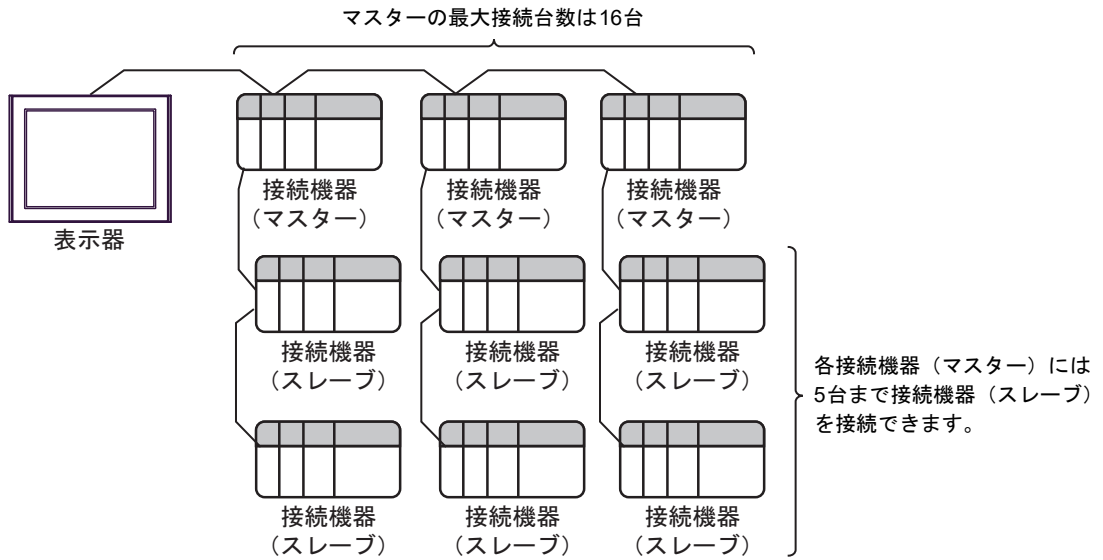
- 1:1 接続



- 1:n 接続



- 1:n 接続 (調節機能付き J U シリーズの場合)



■ IPC の COM ポートについて

接続機器と IPC を接続する場合、使用できる COM ポートはシリーズと通信方式によって異なります。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

使用可能ポート

シリーズ	使用可能ポート		
	RS-232C	RS-422/485(4 線式)	RS-422/485(2 線式)
PS-2000B	COM1 ^{*1} 、COM2、COM3 ^{*1} 、COM4	-	-
PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD	COM1、COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}	COM2 ^{*1*2}
PS-3650A(T41 機種)、PS-3651A(T41 機種)	COM1 ^{*1}	-	-
PS-3650A(T42 機種)、PS-3651A(T42 機種)	COM1 ^{*1*2} 、COM2	COM1 ^{*1*2}	COM1 ^{*1*2}
PS-3700A (Pentium®4-M) PS-3710A	COM1 ^{*1} 、COM2 ^{*1} 、COM3 ^{*2} 、COM4	COM3 ^{*2}	COM3 ^{*2}
PS-3711A	COM1 ^{*1} 、COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}	COM2 ^{*2}
PS4000 ^{*3}	COM1、COM2	-	-
PL3000	COM1 ^{*1*2} 、COM2 ^{*1} 、COM3、COM4	COM1 ^{*1*2}	COM1 ^{*1*2}
PE-4000B Atom N270	COM1、COM2	-	-
PE-4000B Atom N2600	COM1、COM2	COM3 ^{*4} 、COM4 ^{*4} 、COM5 ^{*4} 、COM6 ^{*4}	COM3 ^{*4} 、COM4 ^{*4} 、COM5 ^{*4} 、COM6 ^{*4}
PS5000 (スリムパネルタイプ Core i3 モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}	COM2 ^{*4}
PS5000 (スリムパネルタイプ Atom モデル) ^{*5 *6}	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}
PS5000 (耐環境パネルタイプ) ^{*8}	COM1	-	-
PS5000 (モジュラータイプ PFXPU/PFXPP) ^{*5 *6} PS5000 (モジュラータイプ PFXPL2B5-6)	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}	COM1 ^{*7}
PS5000 (モジュラータイプ PFXPL2B1-4)	COM1、COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}	COM2 ^{*7}
PS6000 (アドバンスドボックス) PS6000 (スタンダードボックス)	COM1 ^{*9}	*10	*10
PS6000 (ベーシックボックス)	COM1 ^{*9}	COM1 ^{*9}	COM1 ^{*9}

*1 RI/5V を切替えることができます。IPC の切替えスイッチで切替えてください。

*2 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。使用する通信方式に合わせて、以下のように設定してください。

- *3 拡張スロットに搭載した COM ポートと接続機器を通信させる場合、通信方式は RS-232C のみサポートします。ただし、COM ポートの仕様上、ER(DTR/CTS) 制御はできません。接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、ピン番号 1、4、6、9 には何も接続しないでください。ピン配列は IPC のマニュアルを参照してください。
- *4 通信方式を BIOS で設定する必要があります。BIOS の詳細は IPC のマニュアルを参照してください。
- *5 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールと接続機器を通信させる場合、IPC(RS-232C) または PS5000(RS-422/485) の結線図を使用してください。ただし PFXZPBMPR42P2 をフロー制御なしの RS-422/485(4 線式) として使用する場合は 7.RTS+ と 8.CTS+、6.RTS- と 9.CTS- を接続してください。
接続機器との接続で RS-422/485 通信を使用するときには通信速度を落として送信ウェイトを増やすことが必要な場合があります。
- *6 RS-232C/422/485 インターフェイスモジュールで RS-422/485 通信を使用するにはディップスイッチの設定が必要です。サポート専用サイトの「よくある質問」(FAQ) を参照してください。
(<http://www.pro-face.com/trans/ja/manual/1001.html>)

項目	FAQ ID
PFXZPBMPR42P2のRS422/485切り替え方法	FA263858
PFXZPBMPR42P2の終端抵抗設定	FA263974
PFXZPBMPR44P2のRS422/485切り替え方法	FA264087
PFXZPBMPR44P2の終端抵抗設定	FA264088

- *7 通信方式をディップスイッチで設定する必要があります。ディップスイッチの詳細は IPC のマニュアルを参照してください。
ボックス Atom には RS-232C、RS-422/485 モードを設定するスイッチがありません。通信方式は BIOS で設定してください。
- *8 接続機器との接続には自作ケーブルを使用し、表示器側のコネクタを M12 A コード 8 ピン (ソケット) に読み替えてください。ピン配列は結線図に記載している内容と同じです。M12 A コードのコネクタには PFXZPSCNM122 を使用してください。
- *9 本体上の COM1 以外に、オプションインターフェイス上の COM ポートを使用することもできます。
- *10 拡張スロットにオプションインターフェイスを取り付ける必要があります。

ディップスイッチの設定 (PL3000/PS3000 シリーズ)

RS-232C

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF*1	予約 (常時 OFF)
2	OFF	通信方式 : RS-232C
3	OFF	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード : 常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω) : なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω) : なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡 : しない
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡 : しない

ディップスイッチ	設定値	設定内容
9	OFF	RS(RTS) 自動制御モード：無効
10	OFF	

*1 PS-3450A、PS-3451A、PS3000-BA、PS3001-BD を使用する場合のみ設定値を ON にする必要があります。

RS-422/485 (4 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約 (常時 OFF)
2	ON	通信方式：RS-422/485
3	ON	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード：常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
7	OFF	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡：しない
8	OFF	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡：しない
9	OFF	RS(RTS) 自動制御モード：無効
10	OFF	

RS-422/485 (2 線式)

ディップスイッチ	設定値	設定内容
1	OFF	予約 (常時 OFF)
2	ON	通信方式：RS-422/485
3	ON	
4	OFF	SD(TXD) の出力モード：常に出力
5	OFF	SD(TXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
6	OFF	RD(RXD) への終端抵抗挿入 (220Ω)：なし
7	ON	SDA(TXA) と RDA(RXA) の短絡：する
8	ON	SDB(TXB) と RDB(RXB) の短絡：する
9	ON	RS(RTS) 自動制御モード：有効
10	ON	

2 接続機器の選択

表示器と接続する接続機器を選択します。



設定項目	設定内容
接続機器数	設定するシリーズ数を「1～4」で入力します。
メーカー	接続する接続機器のメーカーを選択します。「(株)チノー」を選択します。
シリーズ	接続する接続機器の機種（シリーズ）と接続方法を選択します。「調節計 MODBUS SIO」を選択します。 「調節計 MODBUS SIO」で接続できる接続機器はシステム構成で確認してください。 ☞「1 システム構成」(3 ページ)
ポート	接続機器と接続する表示器のポートを選択します。
システムエリアを使用する	本ドライバでは使用できません。

3 通信設定例

(株) デジタルが推奨する表示器と接続機器の通信設定例を示します。

3.1 設定例 1

■ GP-ProEX の設定


◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- ・ 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.2 設定例 2

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.3 設定例 3

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.4 設定例 4

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノ シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定

接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	PLC1	シリーズ=DB2000シリーズ,局番号=1	+

重要

- 送信ウェイトは5ms以上に設定してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ DB2000シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

[初期設定](#)

[OK\(O\)](#) [キャンセル](#)

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.5 設定例 5

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.6 設定例 6

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定

接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=DB2000シリーズ/局番号=1	+

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ DB2000シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

[初期設定](#)

[OK](#) [キャンセル](#)

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、シフトキー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE7」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、またはシフトキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.7 設定例 7

■ GP-ProEX の設定


◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.8 設定例 8

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.9 設定例 9

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.10 設定例 10

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

接続機器変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定


接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定	間接機器 追加
1	PLC1	シリーズ=KP2000シリーズ,局番号=1	+

重要

- 送信ウェイトは5ms以上に設定してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ KP2000シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK(O) キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.11 設定例 11

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 [接続機器変更](#)

メーカー (株)子ノ シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

[初期設定](#)

機器別設定

接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=KP2000シリーズ/局番号=1	+

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ KP2000シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

[初期設定](#)

[OK](#) [キャンセル](#)

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.12 設定例 12

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノ シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定
1	PLC1	シリーズ=KP2000シリーズ,局番号=1


間接機器 追加

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ KP2000シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK(O) キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.13 設定例 13

■ GP-ProEX の設定


◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- ・ 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.14 設定例 14

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノ シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

接続機器変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加


No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=KP3000シリーズ,局番号=1	+

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ KP3000シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK(O) キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.15 設定例 15

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノ

シリーズ 調節計 MODBUS SIO

ポート COM1

文字列データモード 1 変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLC1	シリーズ=KP3000シリーズ,局番号=1	

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ KP3000シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK

キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL キー、ENT キー、右キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 ダウン/アップキーを押して「MODE8」に移行します。
- 3 SEL キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキー、または右キーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
COM BIT RATE	9600bps
COM NUMBER	01
COM KIND	COM
COM PROTOCOL	MODBUS(RTU)
COM CHARACTER	8BIT/NON/STOP1

3.16 設定例 16

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 SEL/ENT キーを 2 秒間押します。
- 2 UP キーを押して「モード 7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.17 設定例 17

■ GP-ProEX の設定


◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- ・ 送信ウェイトは 20ms 以上に設定してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.18 設定例 18

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 20 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定
1	PLG1	シリーズ=LT300シリーズ,局番号=1

間接機器追加

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLG1

シリーズ LT300シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK(O) キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.19 設定例 19

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 20 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定
1	PLG1	シリーズ=LT300シリーズ,局番号=1

間接機器追加

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLG1

シリーズ LT300シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK(O) キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	5

3.20 設定例 20

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要 接続機器変更

メーカー (株)子ノ シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 [変更](#)

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 [機器を追加](#)

No.	機器名	設定	間接機器追加
1	PLG1	シリーズ=LT400シリーズ,局番号=1	+

重要

- 送信ウェイトは 5ms 以上に設定してください。

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ LT400シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PrtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHArA	8n1

3.21 設定例 21

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

接続機器変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定
1	PLG1	シリーズ=LT400シリーズ,局番号=1

間接機器追加

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ LT400シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PrtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHArA	8n1

3.22 設定例 22

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、SEL/ENT キー、DOWN キーおよび UP キーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 UP キーを押して「モード7」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 DOWN/UP キーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PrtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHArA	8n1

3.23 設定例 23

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

接続機器変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 20 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定
1	PLG1	シリーズ=LT830シリーズ,局番号=1


間接機器追加

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	20ms 以上
1 : n	65ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ LT830シリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の、SEL/ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。
詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 SEL/ENT キーを 2 秒間押します。
- 2 アップキーを押して「モード 6」に移行します。
- 3 SEL/ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、SEL/ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
FUnC	Com
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.24 設定例 24

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は接続機器のロータリスイッチとディップスイッチで行います。
詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 本体ロータリスイッチ (SW1)

ロータリスイッチ	設定値
SW1	1

- 本体ディップスイッチ (SW2)

ディップスイッチ	設定値
SW1	OFF
SW2	OFF
SW3	OFF
SW4	OFF
SW5	OFF
SW6	OFF
SW7	OFF
SW8	OFF

3.25 設定例 25

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.26 設定例 26

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

接続機器変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定
1	PLC1	シリーズ=単相JUSシリーズ,局番号=1

間接機器追加

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ 単相JUSシリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.27 設定例 27

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定


設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

3.28 設定例 28

■ GP-ProEX の設定

◆ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

接続機器1

概要

メーカー (株)子ノー シリーズ 調節計 MODBUS SIO ポート COM1

文字列データモード 1 変更

通信設定

通信方式 RS232C RS422/485(2線式) RS422/485(4線式)

通信速度 9600

データ長 7 8

パリティ なし 偶数 奇数

ストップビット 1 2

フロー制御 なし ER(DTR/CTS) XON/XOFF

タイムアウト 3 (sec)

リトライ 2

送信ウェイト 10 (ms)

RI / VCC RI VCC

RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。

初期設定

機器別設定

接続可能台数 16台 機器を追加

No.	機器名	設定
1	PLC1	シリーズ=JWSシリーズ,局番号=1

間接機器追加

重要

- 接続構成によって送信ウェイトの設定値が異なります。以下のように設定してください。

接続構成	設定値
1 : 1	5ms 以上
1 : n	10ms 以上

◆ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定]の[機器別設定]から設定したい接続機器の ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定]の[機器別設定]から[機器を追加]をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。

個別機器設定

PLC1

シリーズ JWSシリーズ

シリーズを変更した場合は、すでに使用されているアドレスを再確認してください。

局番号 1

初期設定

OK(O) キャンセル

■ 接続機器の設定

接続機器の通信設定は調節計前面の MODE キー、ENT キー、ダウンキーおよびアップキーで設定します。

詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

- 1 MODE キーを押します。
- 2 アップキーを押して「モード3」に移行します。
- 3 ENT キーを押して設定する項目を表示させます。
- 4 ダウン/アップキーを押して設定値を選択し、ENT キーを押します。

設定項目	設定値
PtCL	rtU
AdrS	1
rAtE	9600
CHAr	8n1

4 設定項目

表示器の通信設定は GP-Pro EX、または表示器のオフラインモードで設定します。

各項目の設定は接続機器の設定と一致させる必要があります。

☞ 「3 通信設定例」(10 ページ)

4.1 GP-Pro EX での設定項目

■ 通信設定

設定画面を表示するには、[プロジェクト]メニューの[システム設定]-[接続機器設定]をクリックします。

The screenshot shows the '接続機器1' configuration window. The '通信設定' section is expanded, showing the following settings:

- 通信方式: RS232C
- 通信速度: 9600
- データ長: 8
- パリティ: なし
- ストップビット: 1
- フロー制御: なし
- タイムアウト: 3 (sec)
- リトライ: 2
- 送信ウェイト: 10 (ms)

 The '機器別設定' section shows a table with columns for 'No.', '機器名', and '設定'. The first row contains '1', 'PLC1', and 'シリーズ=DB1000シリーズ,局番号=1'.

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を表示します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を選択します。
タイムアウト	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s) を「1～127」で入力します。
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0～255」で入力します。
送信ウェイト	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms) を「0～255」で入力します。

次のページに続きます。


設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式で RS232C を選択した場合に、9 番ピンの RI/VCC を切り替えます。IPC と接続する場合は IPC の切替スイッチで RI/5V を切り替える必要があります。詳細は IPC のマニュアルを参照してください。

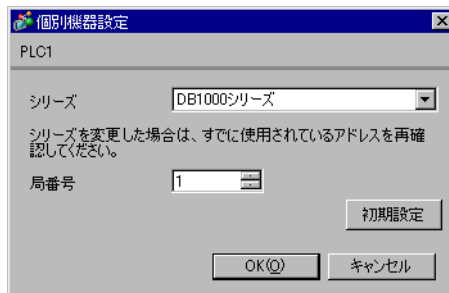
MEMO

- 間接機器については GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「運転中に接続機器を切り替えたい (間接機器指定)」

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[接続機器設定] の [機器別設定] から設定したい接続機器の  ([設定]) をクリックします。複数の接続機器を接続する場合は、[接続機器設定] の [機器別設定] から [機器を追加] をクリックすることで、接続機器を増やすことができます。



設定項目	設定内容
シリーズ	接続機器のシリーズを選択します。
局番号	接続機器の局番号を「1～99」で入力します。

4.2 オフラインモードでの設定項目

MEMO

- オフラインモードへの入り方や操作方法は保守 / トラブル解決ガイドを参照してください。

参照：保守 / トラブル解決ガイド「オフラインモードについて」

- オフラインモードは使用する表示器によって 1 画面に表示できる設定項目数が異なります。詳細はリファレンスマニュアルを参照してください。

■ 通信設定

設定画面を表示するには、オフラインモードの [周辺機器設定] から [接続機器設定] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
調節計 MODBUS SIO [COM1] Page 1/1				
通信方式	RS422/485(2線式)			
通信速度	9600			
データ長	8			
パリティ	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> 偶数 <input type="radio"/> 奇数			
ストップビット	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2			
フロー制御	なし			
タイムアウト(s)	3			
リトライ	2			
送信ウェイト(ms)	10			
終了			戻る	
2007/10/30 14:54:58				

設定項目	設定内容
通信方式	接続機器と通信する通信方式を選択します。 重要 通信設定を行う場合、[通信方式] は表示器のシリアルインターフェースの仕様を確認し、正しく設定してください。 シリアルインターフェースが対応していない通信方式を選択した場合の動作は保証できません。 シリアルインターフェースの仕様については表示器のマニュアルを参照してください。
通信速度	接続機器と表示器間の通信速度を選択します。
データ長	データ長を表示します。
パリティ	パリティチェックの方法を選択します。
ストップビット	ストップビット長を選択します。
フロー制御	送受信データのオーバーフローを防ぐために行う通信制御方式を選択します。
タイムアウト (s)	表示器が接続機器からの応答を待つ時間 (s) を「1 ~ 127」で入力します。

次のページに続きます。

設定項目	設定内容
リトライ	接続機器からの応答がない場合に、表示器がコマンドを再送信する回数を「0～255」で入力します。
送信ウェイト (ms)	表示器がパケットを受信してから、次のコマンドを送信するまでの待機時間 (ms) を「0～255」で入力します。

■ 機器設定

設定画面を表示するには、[周辺機器設定] から [接続機器設定] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[機器設定] をタッチします。

設定項目	設定内容
接続機器名	設定する接続機器を選択します。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
シリーズ	接続機器のシリーズを表示します。
局番号	接続機器の局番号を「1～99」で入力します。

■ オプション

設定画面を表示するには、[周辺機器設定] から [接続機器設定] をタッチします。表示された一覧から設定したい接続機器をタッチし、[オプション] をタッチします。

通信設定	機器設定	オプション		
調節計 MODBUS SIO [COM1] Page 1/1				
RI / VCC <input checked="" type="radio"/> RI <input type="radio"/> VCC RS232Cの場合、9番ピンをRI(入力)にするかVCC(5V電源供給)にするかを選択できます。デジタル製RS232Cアイソレーションユニットを使用する場合は、VCCを選択してください。				
終了		戻る		2007/10/30 14:57:53

設定項目	設定内容
RI/VCC	通信方式でRS232Cを選択した場合に、9番ピンの設定を切り替えます。IPCと接続する場合はIPCの切替スイッチでRI/5Vを切り替える必要があります。詳細はIPCのマニュアルを参照してください。

MEMO

- GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、LT-4*01TM および LT-Rear Module の場合、オフラインモードに [オプション] の設定はありません。

5 結線図

以下に示す結線図と（株）チノーの推奨する結線図が異なる場合がありますが、本書に示す結線図でも動作上問題はありません。

- 接続機器本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。
- 表示器内部で SG と FG は接続されています。接続機器と SG を接続する場合は短絡ループが形成されないようにシステムを設計してください。
- ノイズなどの影響で通信が安定しない場合はアイソレーションユニットを接続してください。

結線図 1

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000 (COM1) GP4000 ^{*1} (COM1) SP5000 ^{*2} (COM1/2) SP-5B00 (COM1) ST3000 (COM1) ST6000 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) LT3000 (COM1) IPC ^{*3} PC/AT	1A	(株)チノー製 RS-232C 通信用ケーブル RZ-CRS6□□ ^{*4}	ケーブル長：15m 以内
	1B	自作ケーブル	
GP-4105 (COM1) GP-4115T (COM1) GP-4115T3 (COM1)	1C	自作ケーブル	ケーブル長：15m 以内
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	1D	(株)デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBJR21	ケーブル長：5m 以内

*1 GP-4100 シリーズおよび GP-4203T を除く全 GP4000 機種

*2 SP-5B00 を除く

*3 RS-232C で通信できる COM ポートのみ使用できます。
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)

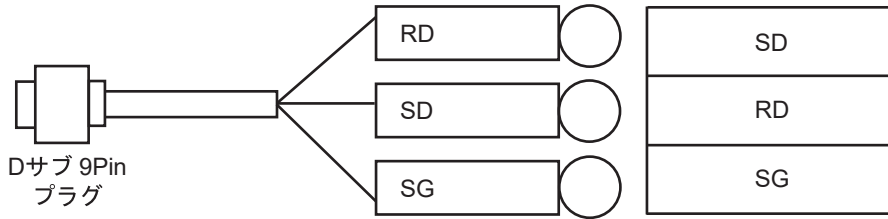
*4 □□ はケーブル長を示します。

重要

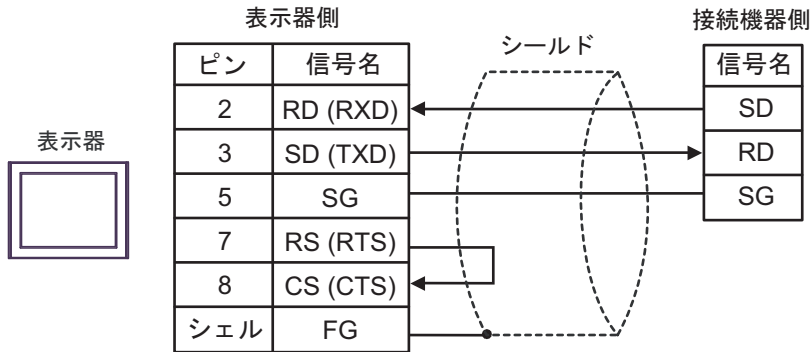
- 接続機器により、通信で使用する端子番号が異なります。以下に各シリーズに対応する端子番号を示します。

シリーズ	SD	RD	SG
DB1000	13	12	14
DB2000 (COM1)	27	26	28
DB2000 (COM2)	30	29	31
KP1000	13	12	14
KP2000 (COM1)	27	26	28
KP2000 (COM2)	30	29	31
KP3000 (COM1)	27	26	28
KP3000 (COM2)	30	29	31
LT300/400	11	13	15

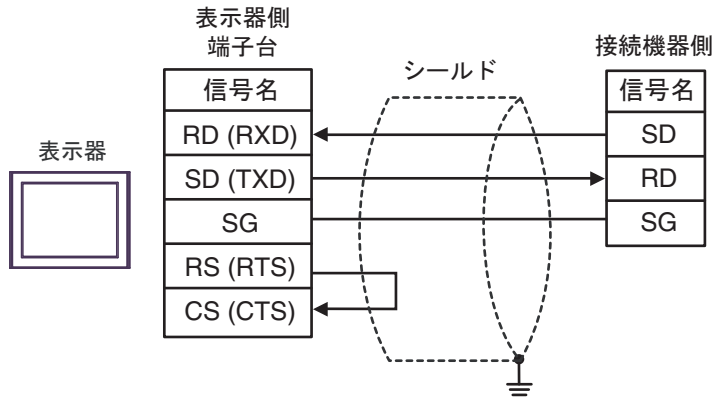
1A)



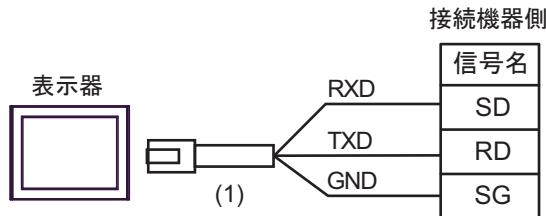
1B)



1C)



1D)



番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-232C ケーブル (5m) PFXZLMCBJR21	

結線図 2

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000* ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000* ² (COM2) LT3000 (COM1) IPC* ³	2A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	2B	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422-01 + 自作ケーブル	
	2C	(株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 + 自作ケーブル	
	2D	自作ケーブル	
GP3000* ⁴ (COM2)	2E	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	2F	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
	2G	(株) デジタル製 オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422-01 + 自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	2H	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP4000* ⁵ (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000* ⁶ (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000* ⁷ (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	2I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1* ⁸ + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	2B	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422-01 + 自作ケーブル	
	2C	(株) デジタル製 RS-422 ケーブル CA3-CBL422/5M-01 + 自作ケーブル	
	2D	自作ケーブル	
PE-4000B* ⁹ PS5000* ⁹ PS6000 (オプションイ ンターフェイス)* ⁹	2J	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

*3 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)

*4 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*5 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

*6 SP-5B00 を除く

*7 ST-6200 を除く

*8 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、2A の結線図を参照してください。

*9 RS-422/485(4 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)

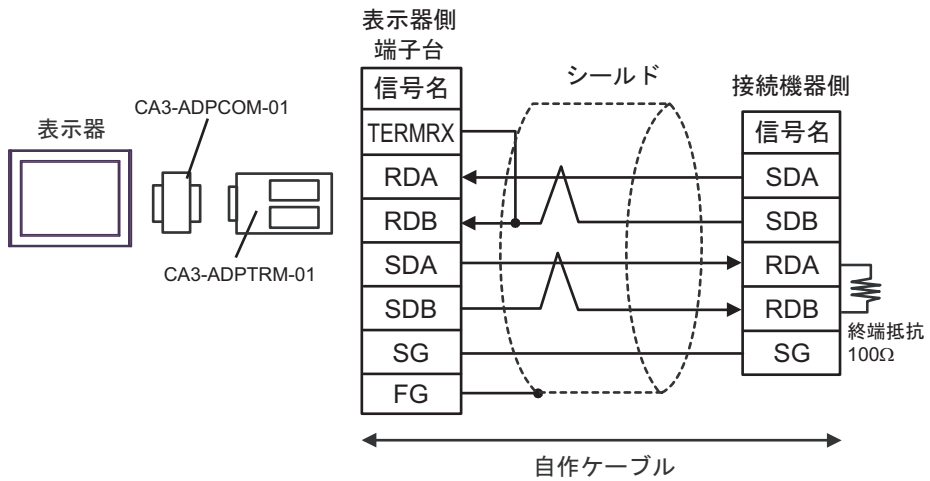
重要

- 接続機器のシリーズにより、通信で使用する端子番号が異なります。以下に各シリーズに対応する端子番号を示します。

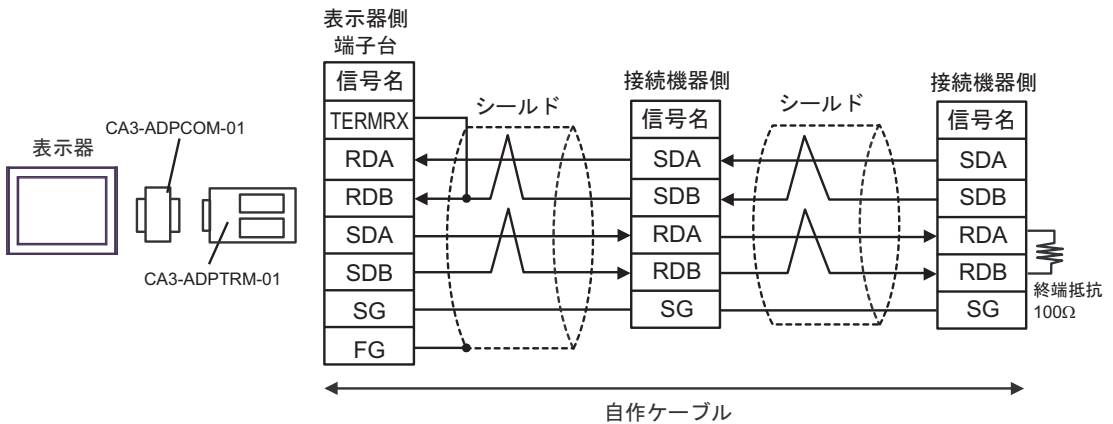
シリーズ	SDA	SDB	RDA	RDB	SG
DB1000	14	15	12	13	16
DB2000 (COM1)	28	29	26	27	30
DB2000 (COM2)	31	32	29	30	28
KP1000	14	15	12	13	16
KP2000 (COM1)	28	29	26	27	30
KP2000 (COM2)	31	32	29	30	28
KP3000 (COM1)	28	29	26	27	30
KP3000 (COM2)	31	32	29	30	28
LT300/400	11	12	13	14	15
単相 JU	1	2	3	4	5
JW	1	2	3	4	5

2A)

- 1:1 接続の場合

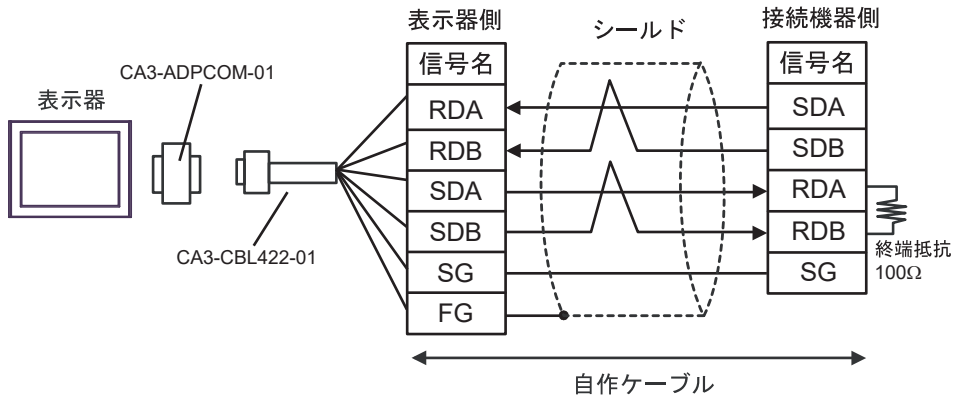


- 1:n 接続の場合

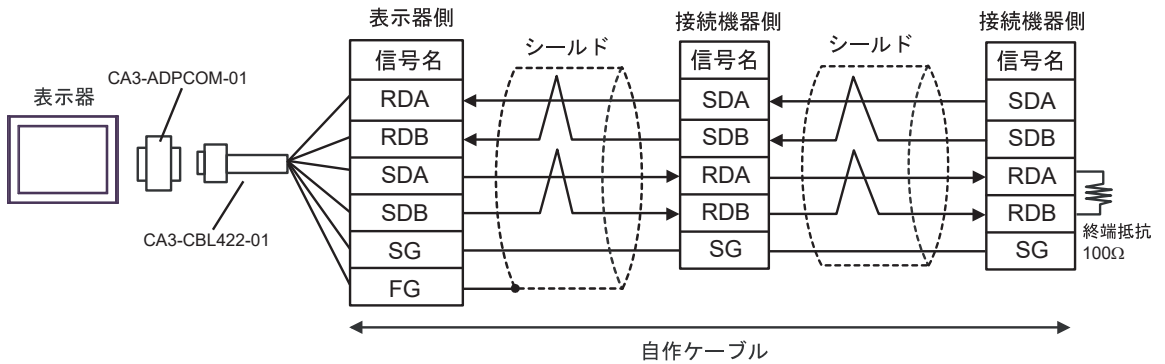


2B)

- 1:1 接続の場合

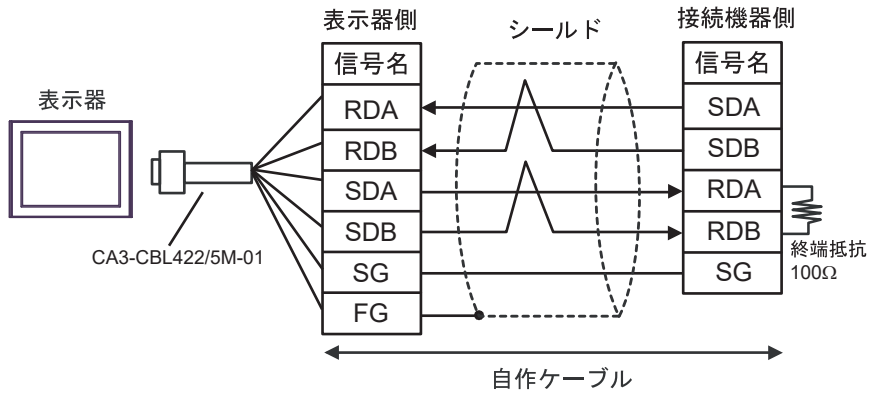


- 1:n 接続の場合

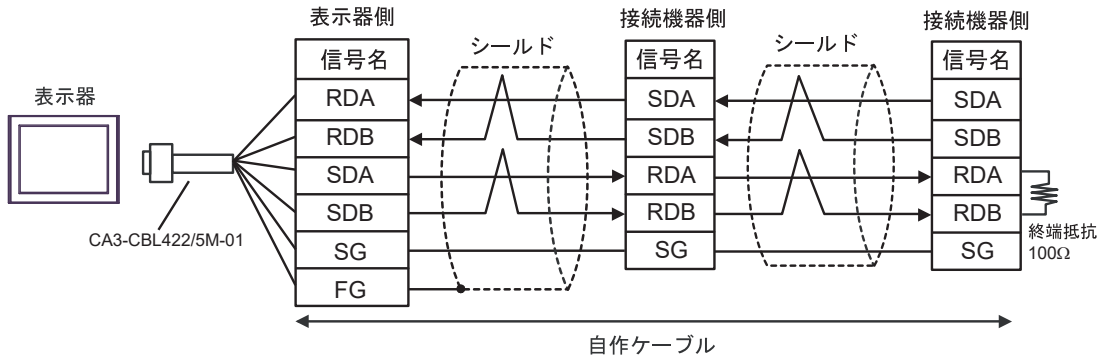


2C)

- 1:1 接続の場合

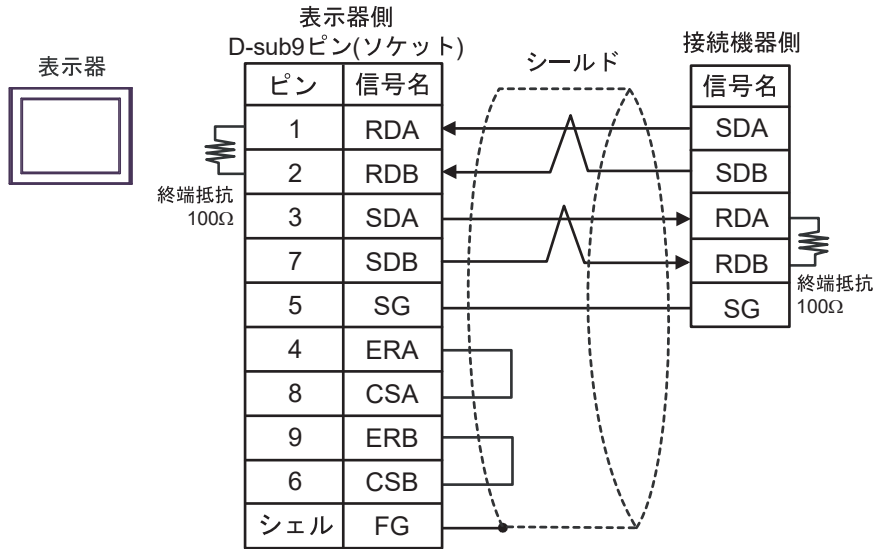


- 1:n 接続の場合

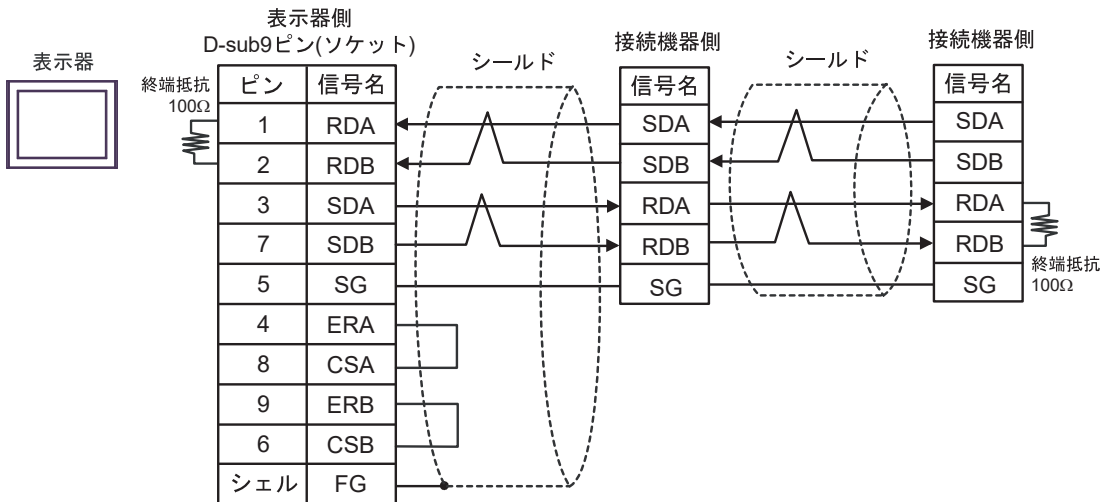


2D)

- 1:1 接続の場合

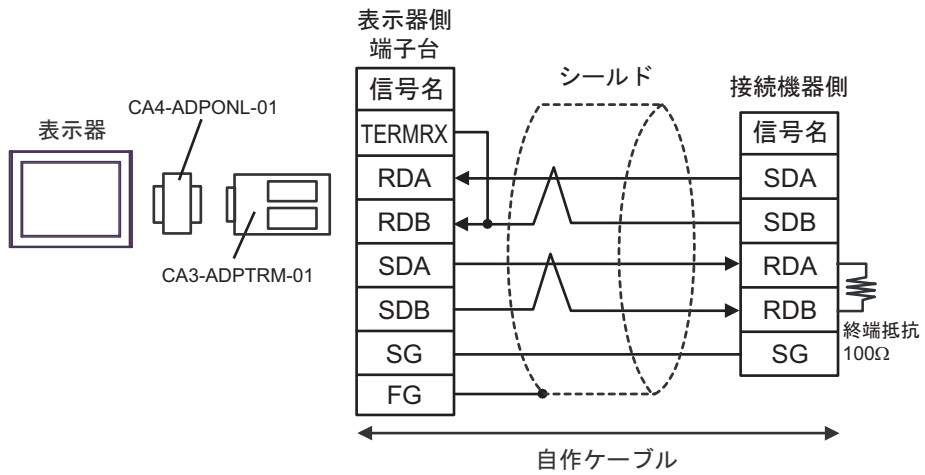


- 1:n 接続の場合

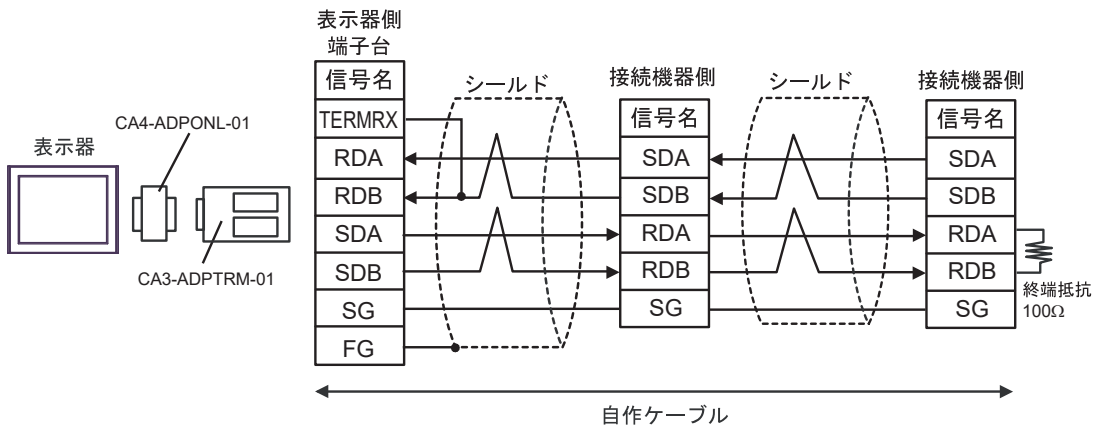


2E)

- 1 : 1 接続の場合

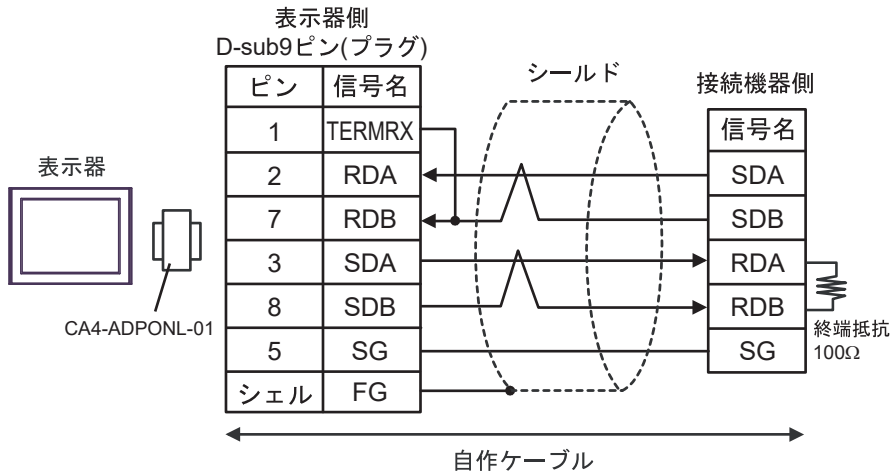


- 1 : n 接続の場合

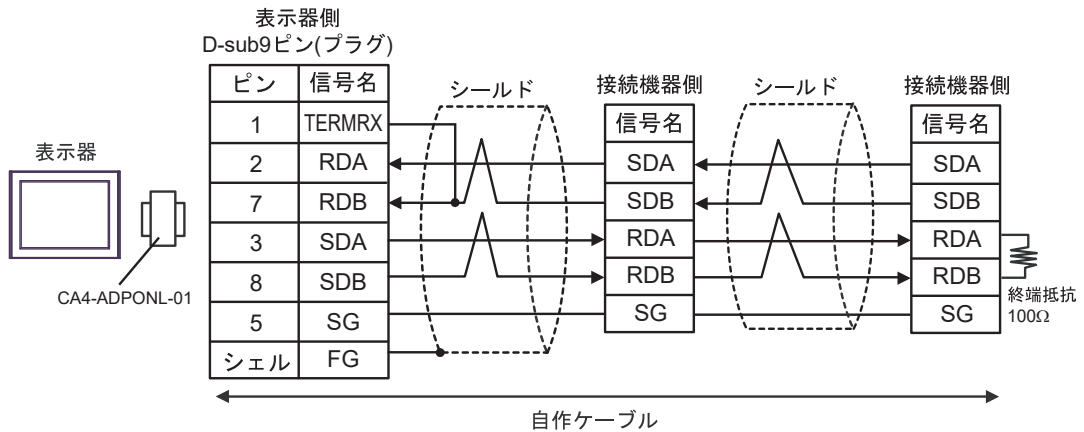


2F)

- 1 : 1 接続の場合

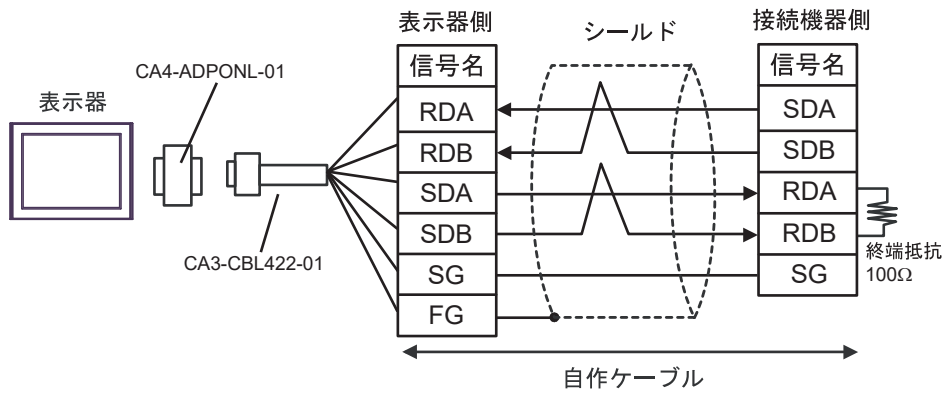


- 1 : n 接続の場合

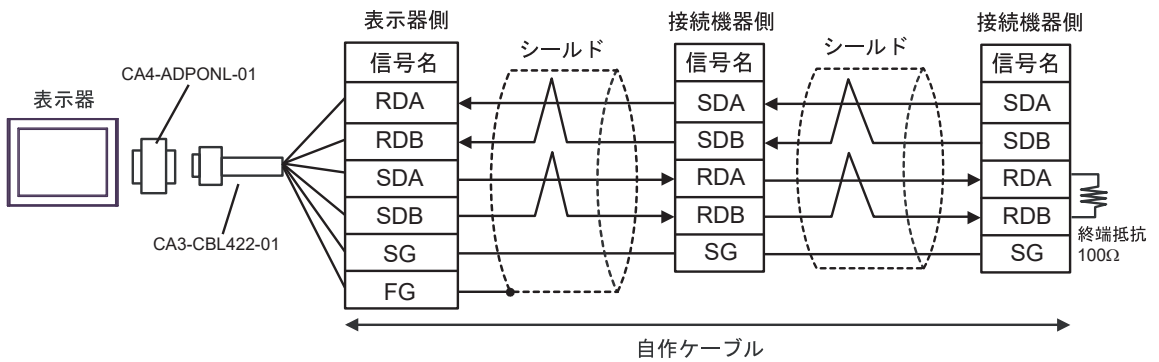


2G)

- 1 : 1 接続の場合

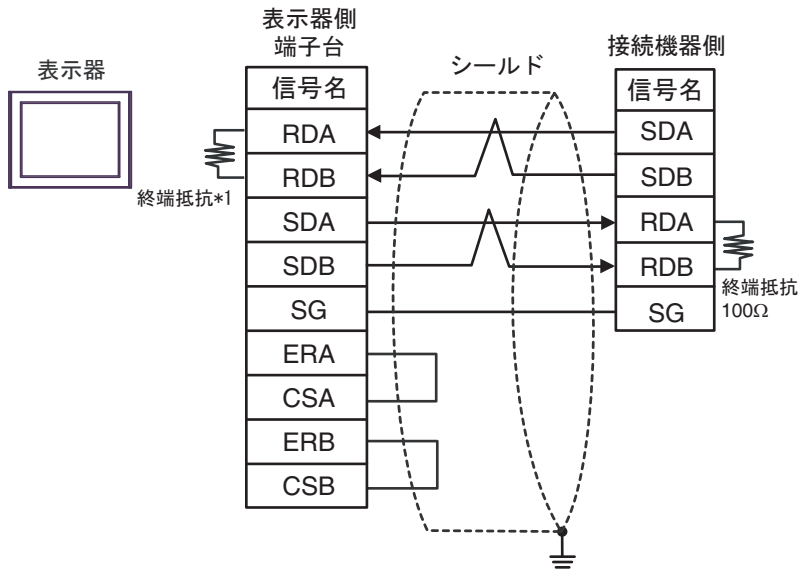


- 1 : n 接続の場合

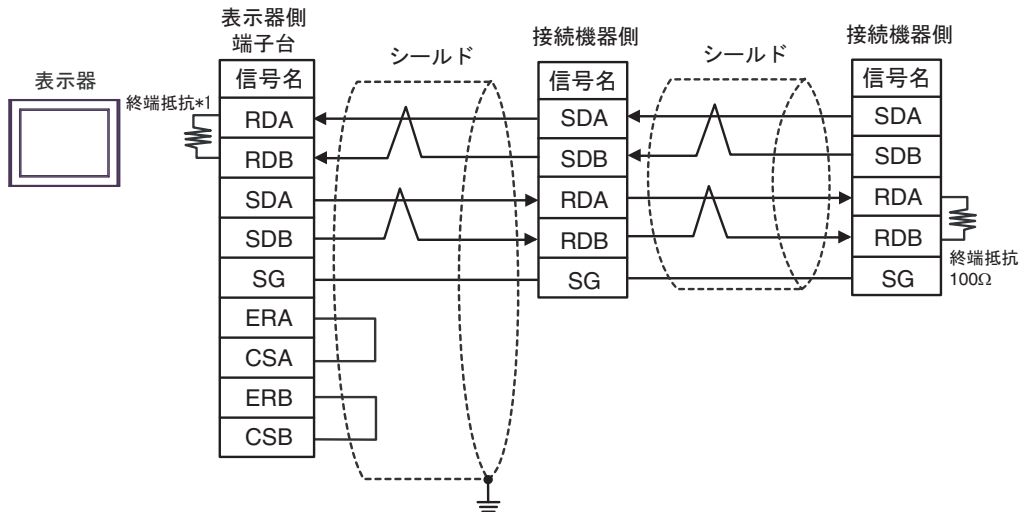


2H)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

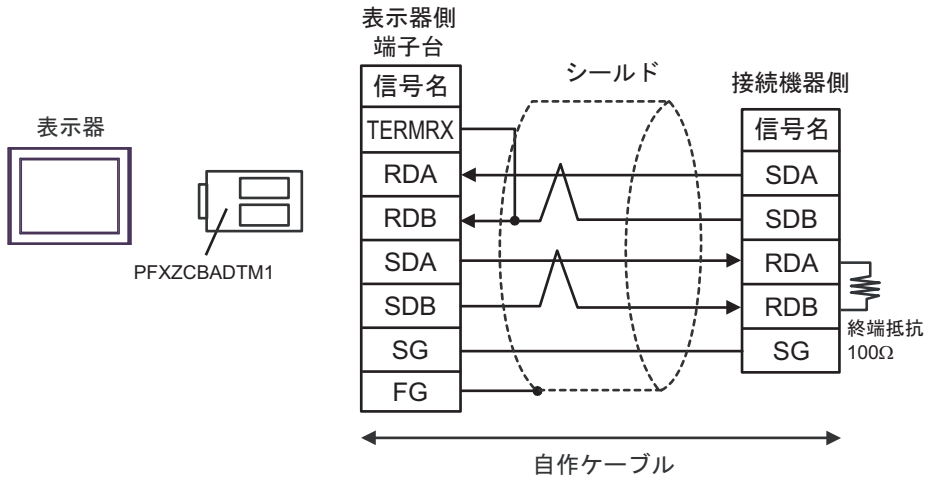


- *1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

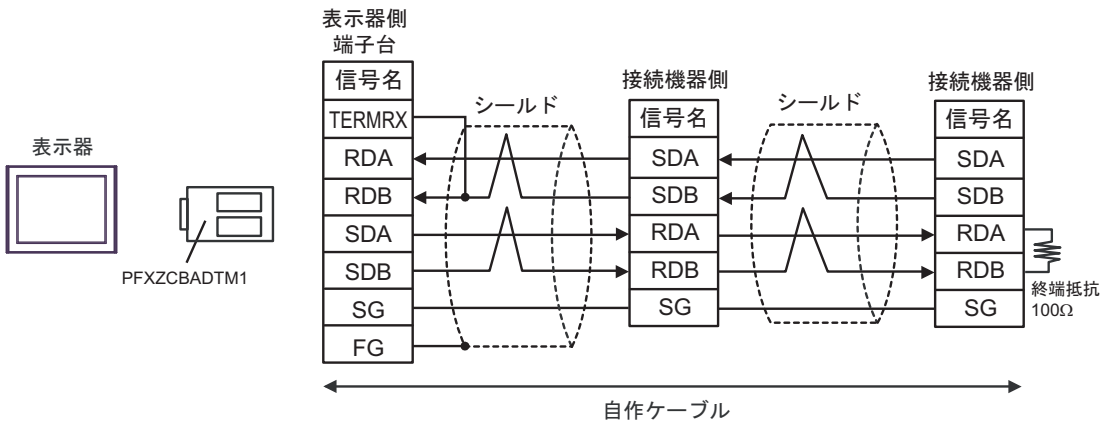
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

2l)

- 1 : 1 接続の場合

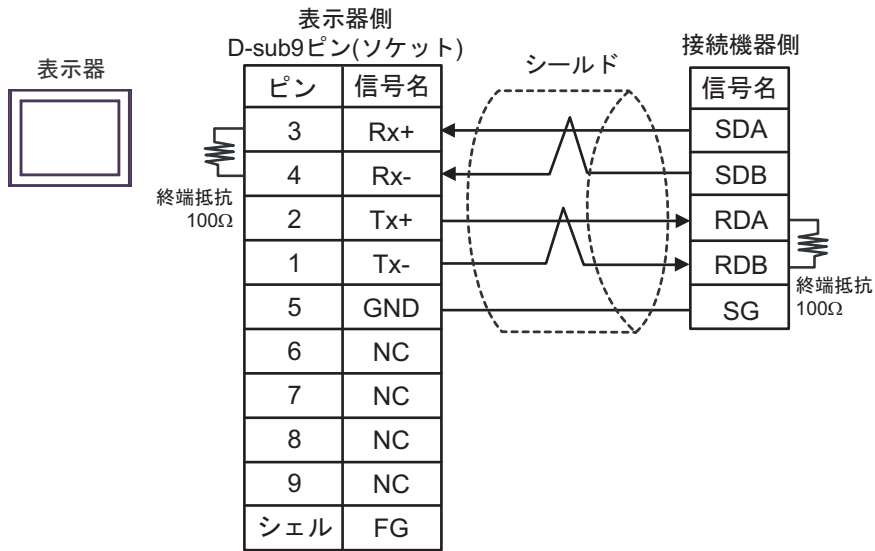


- 1 : n 接続の場合

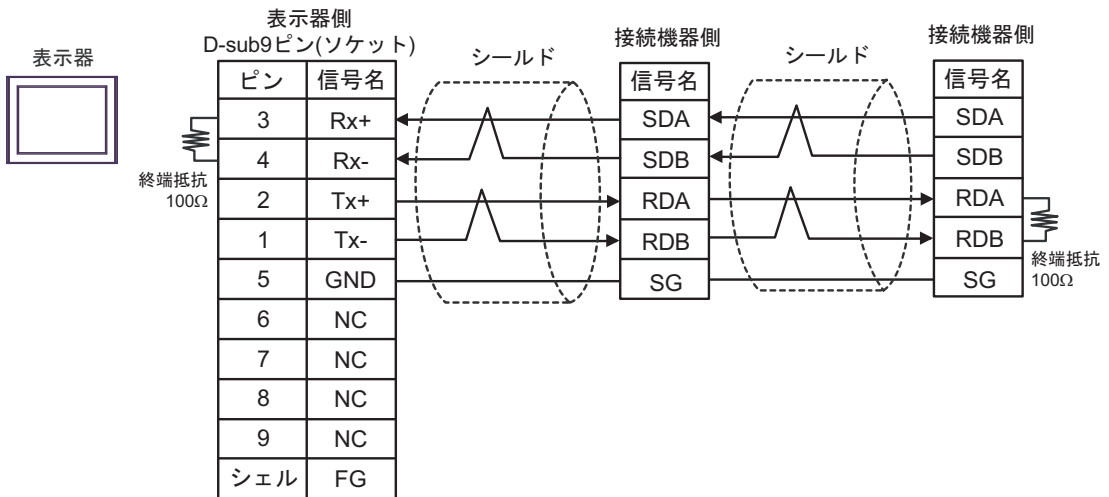


2J)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合



結線図 3

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000* ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000* ² (COM2) LT3000 (COM1)	3A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	3B	自作ケーブル	
GP3000* ³ (COM2)	3C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	3D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC* ⁴	3E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	3F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	3G	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T* ⁵ (COM2) GP-4203T (COM1)	3H	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
GP4000* ⁶ (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000* ⁷ (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000* ⁸ (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	3I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1* ⁹ + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	3B	自作ケーブル	
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	3J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長： 200m 以内

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
PE-4000B* ¹⁰ PS5000* ¹⁰ PS6000 (オプションインターフェイス)* ¹⁰	3K	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内

- *1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)
- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、3A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(2線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)

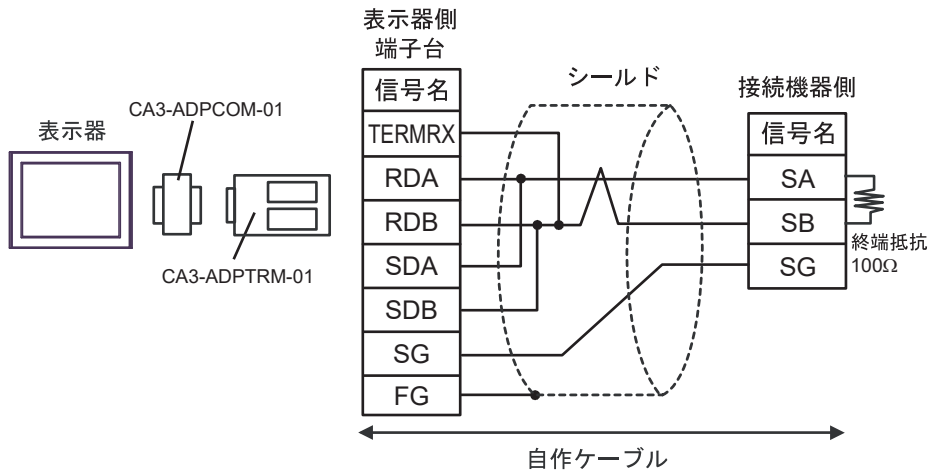
重要

- ・ 接続機器のシリーズにより、通信で使用する端子番号が異なります。以下に各シリーズに対応する端子番号を示します。

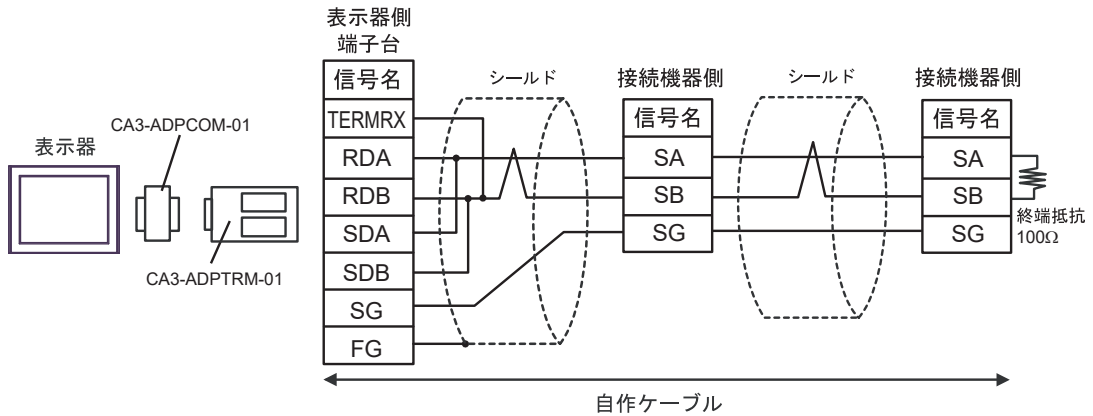
シリーズ	SA	SB	SG
DB1000	12	13	14
DB2000 (COM1)	26	27	28
DB2000 (COM2)	29	30	31
KP1000	12	13	14
KP2000 (COM1)	26	27	28
KP2000 (COM2)	29	30	31
KP3000 (COM1)	26	27	28
KP3000 (COM2)	29	30	31
LT230	6	7	8
LT300/400	11	12	15
LT830	6	7	8

3A)

- 1:1 接続の場合

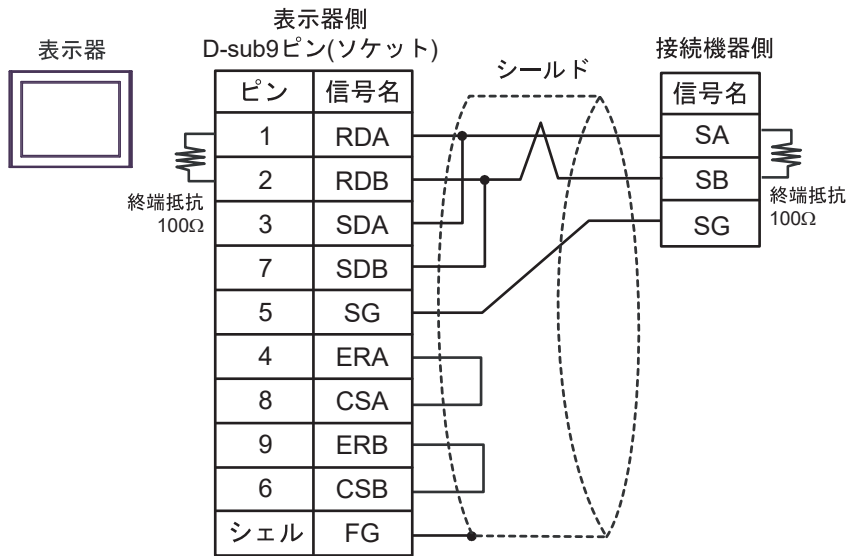


- 1:n 接続の場合

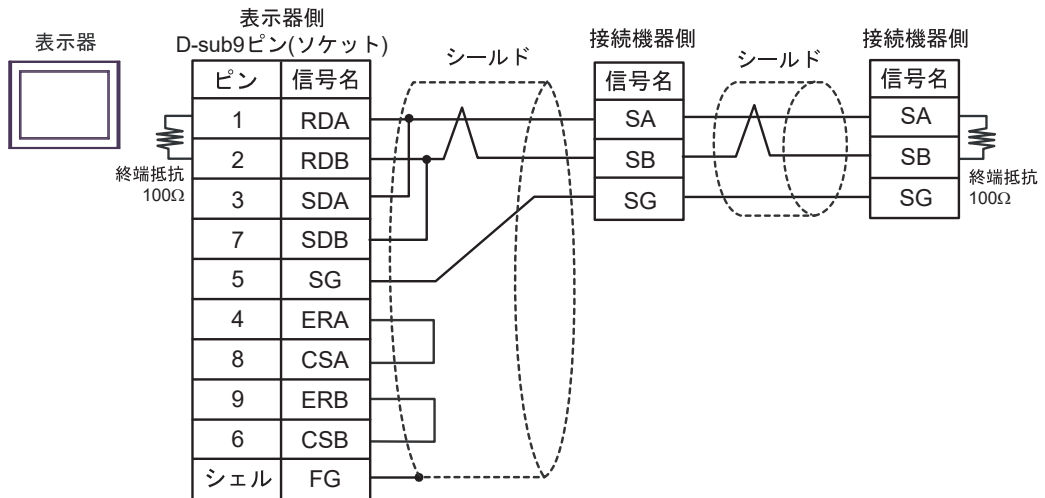


3B)

- 1 : 1 接続の場合

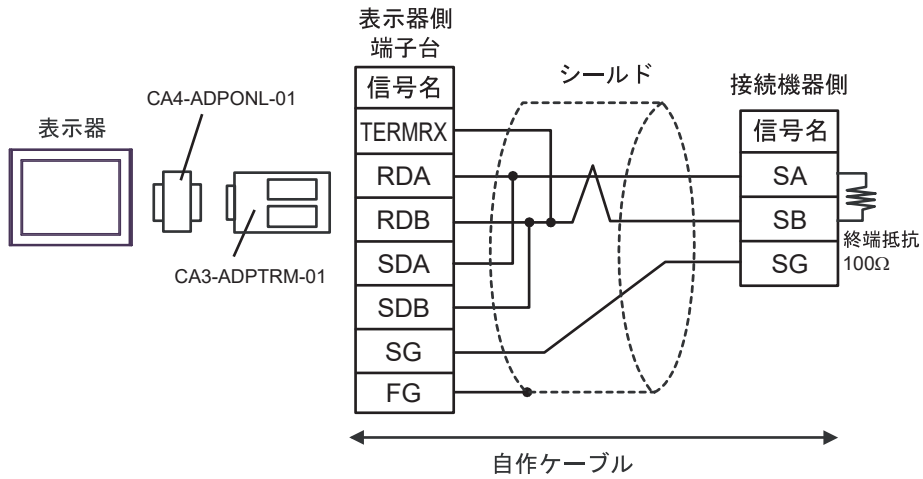


- 1 : n 接続の場合

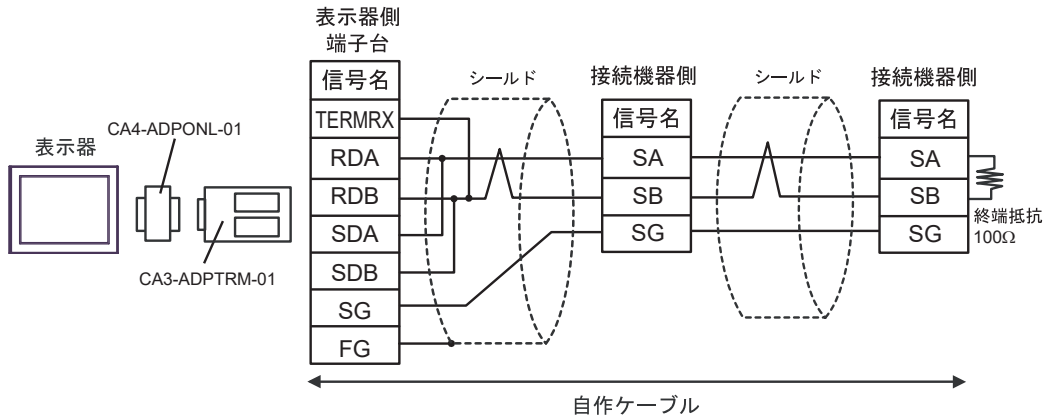


3C)

- 1 : 1 接続の場合

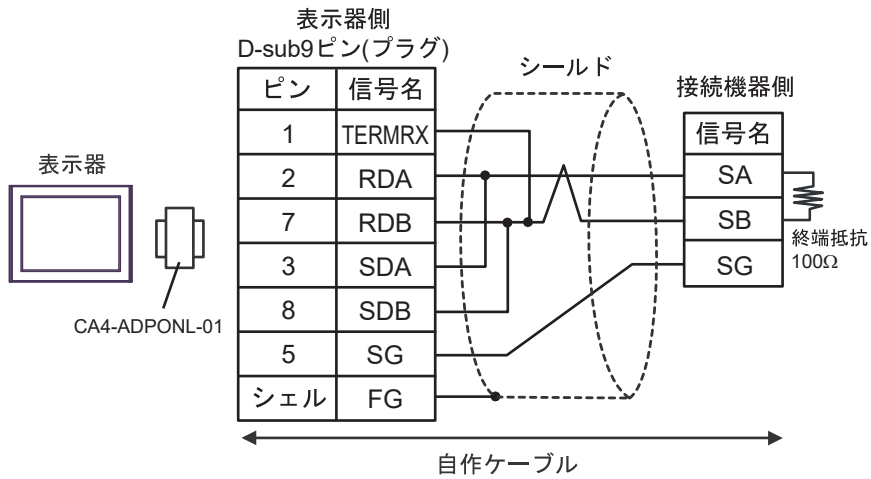


- 1 : n 接続の場合

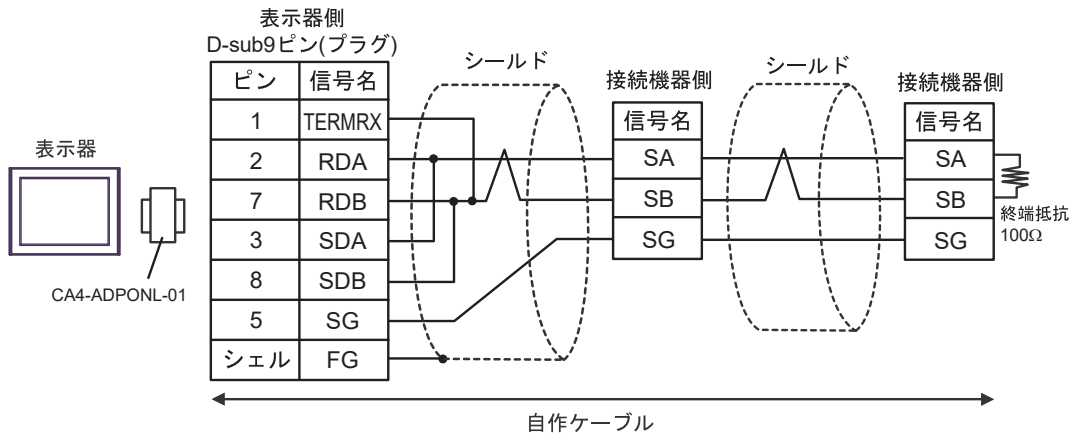


3D)

- 1 : 1 接続の場合

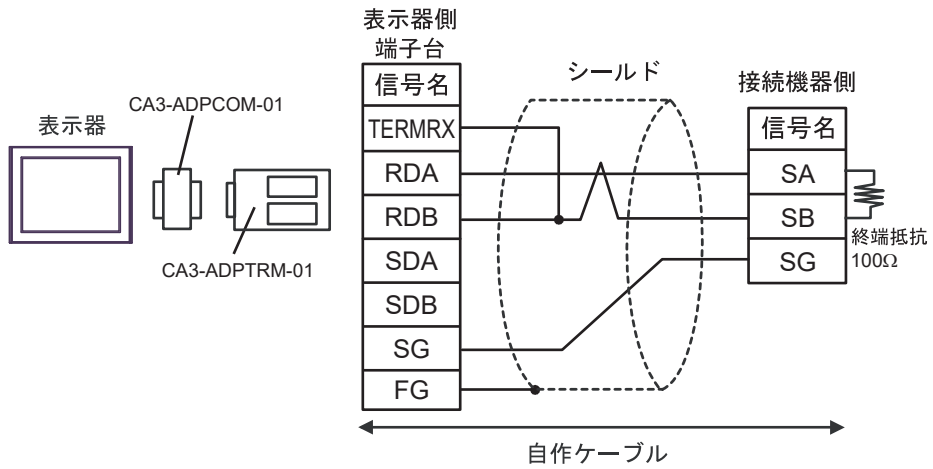


- 1 : n 接続の場合

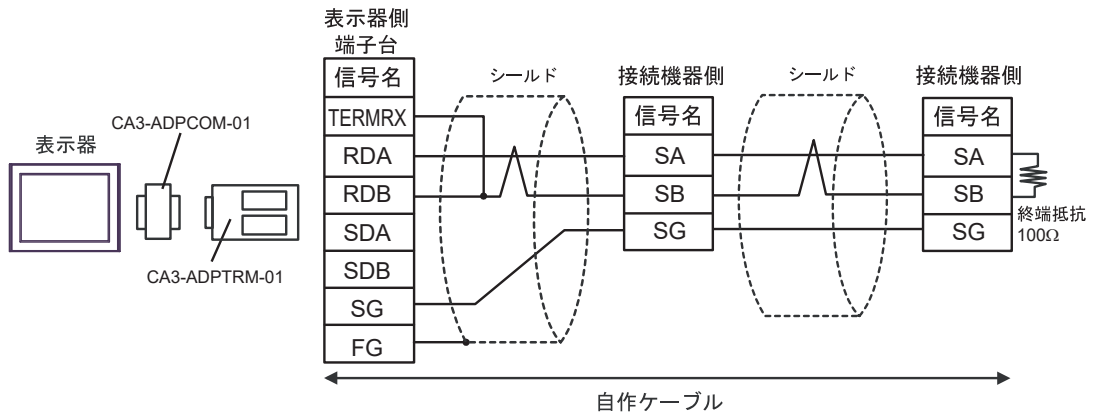


3E)

- 1 : 1 接続の場合

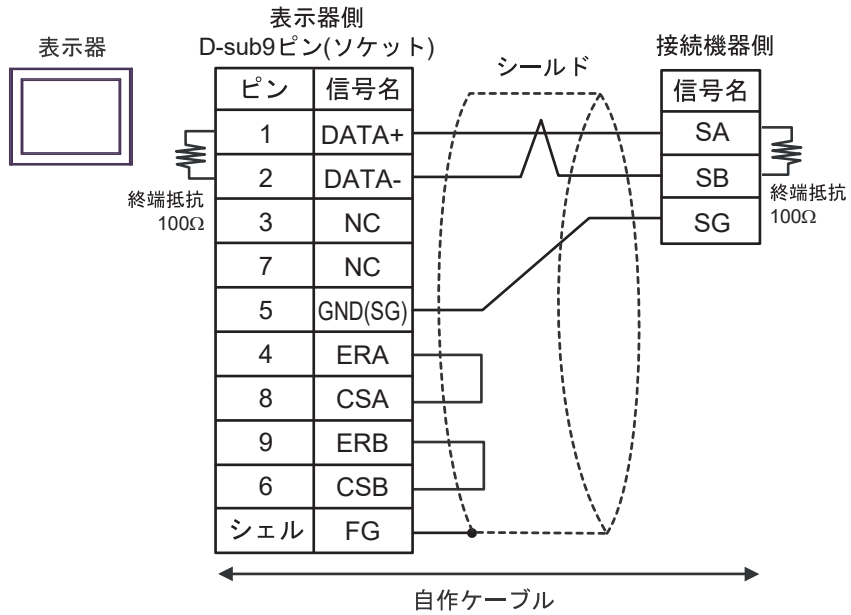


- 1 : n 接続の場合

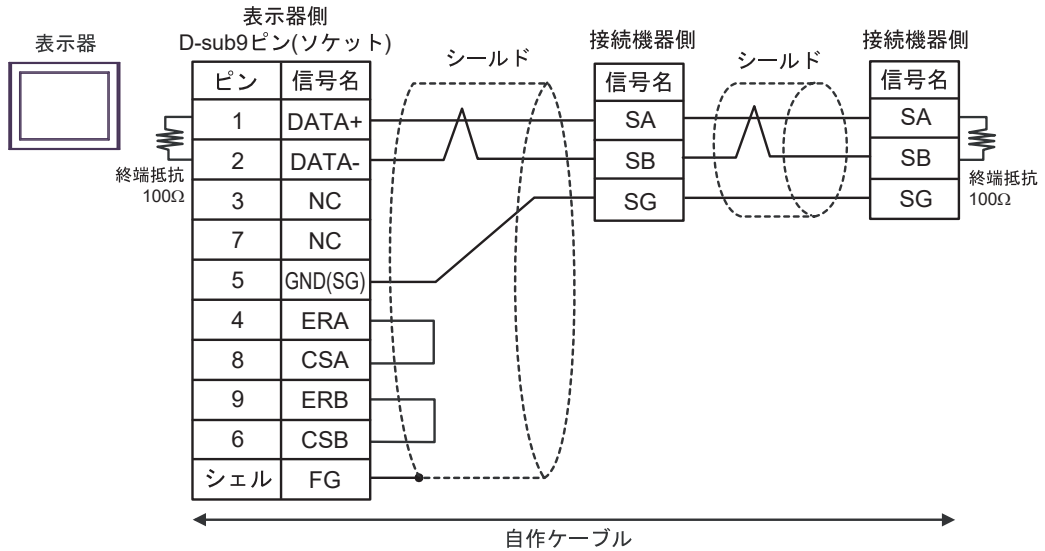


3F)

- 1:1 接続の場合

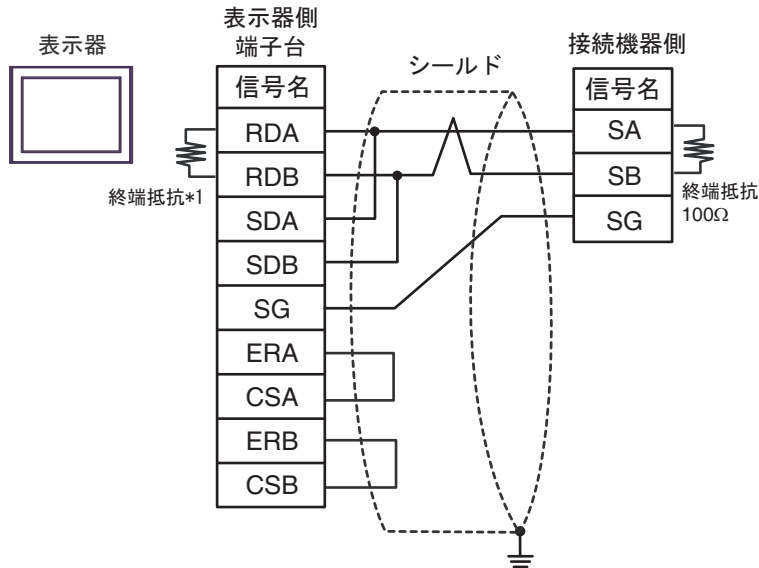


- 1:n 接続の場合

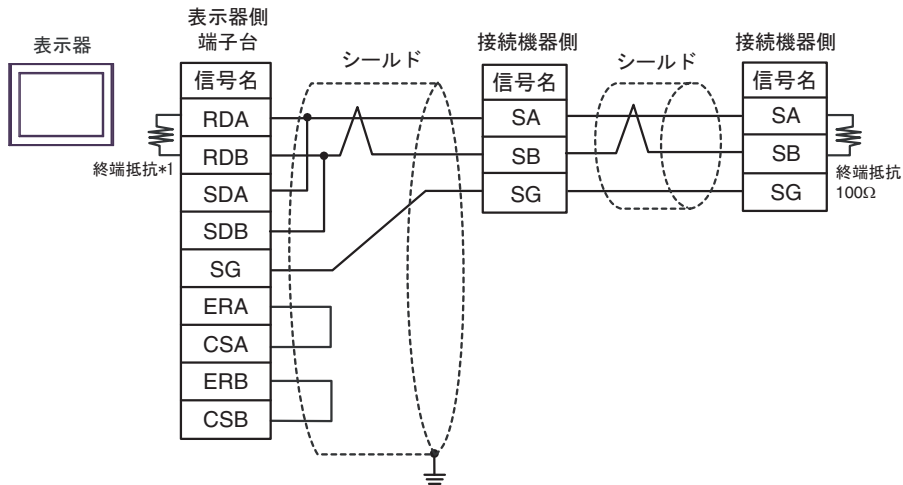


3G)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

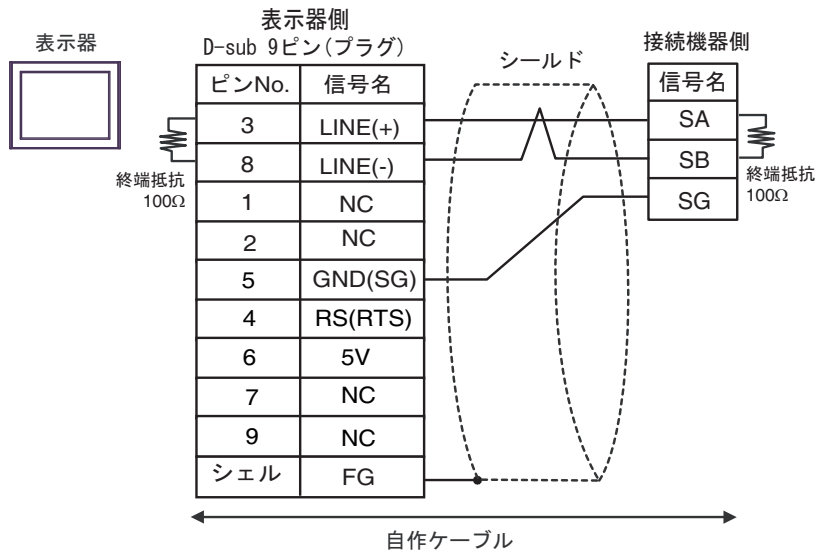


*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

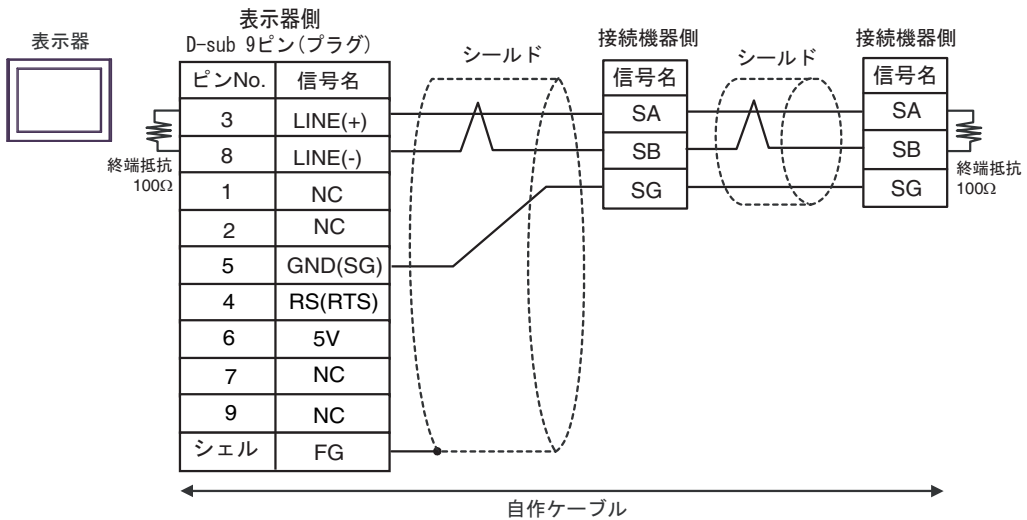
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

3H)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

**重要**

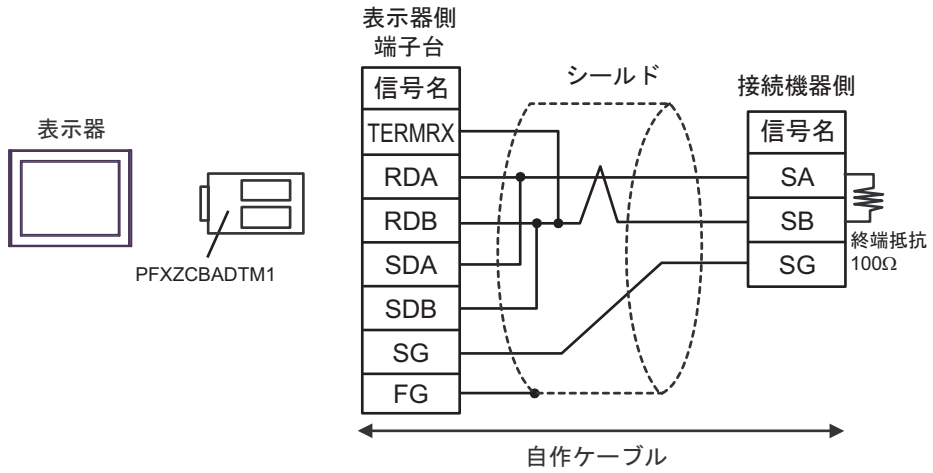
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

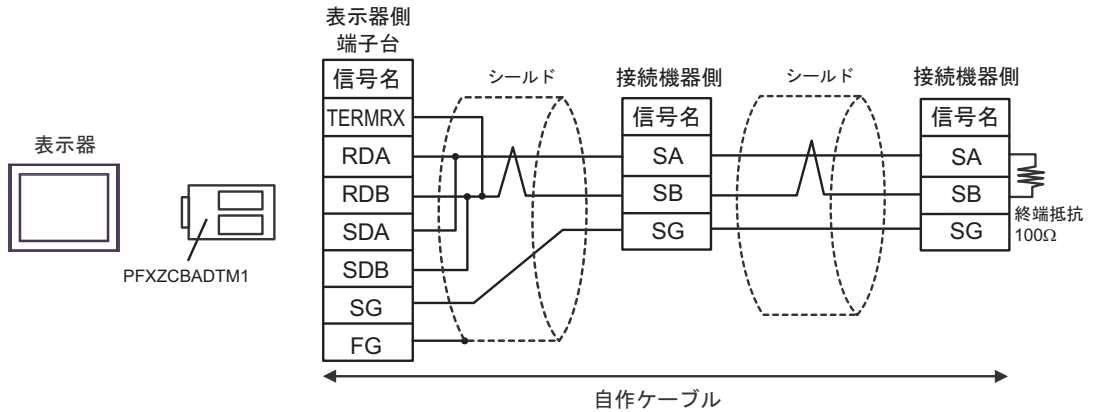
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

3l)

- 1 : 1 接続の場合

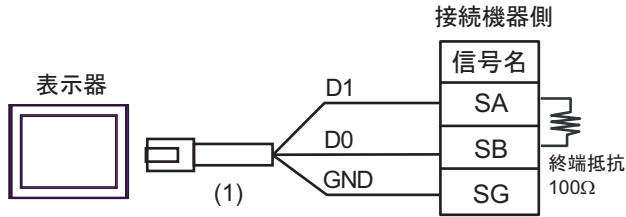


- 1 : n 接続の場合

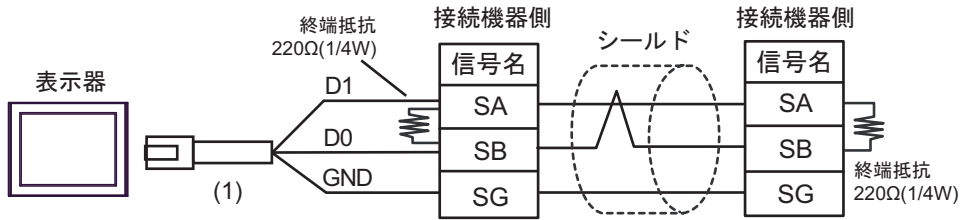


3J)

- 1 : 1 接続の場合



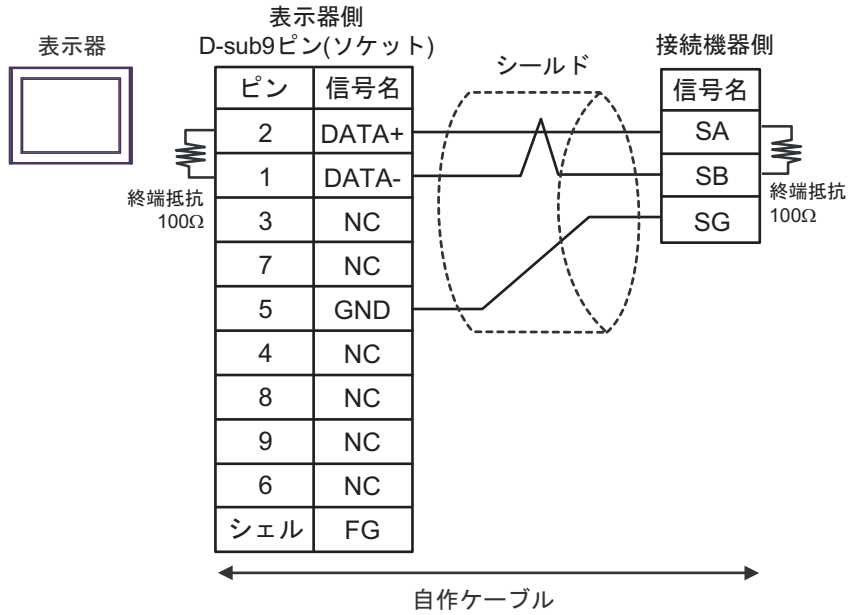
- 1 : n 接続の場合



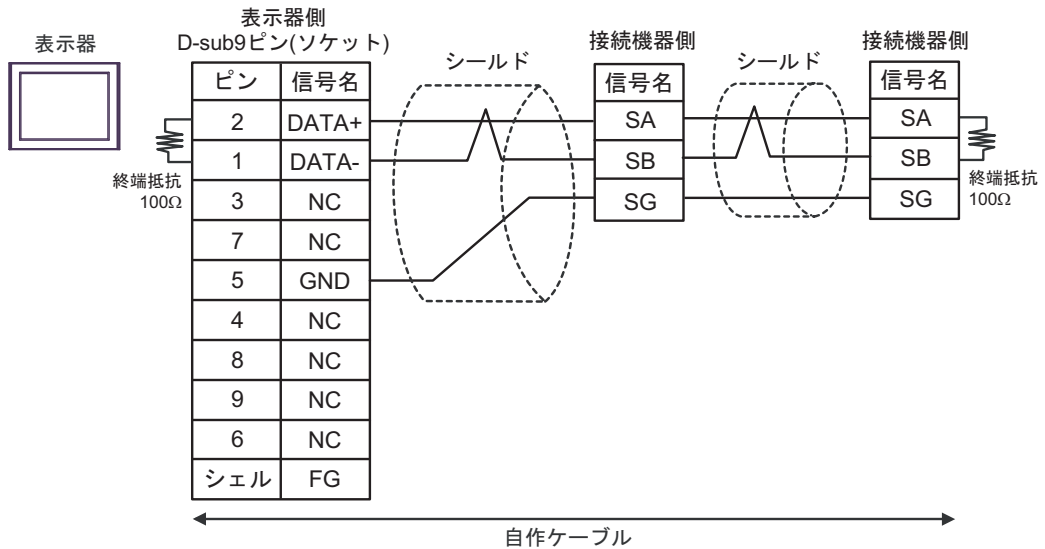
番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ81	

3K)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



結線図 4

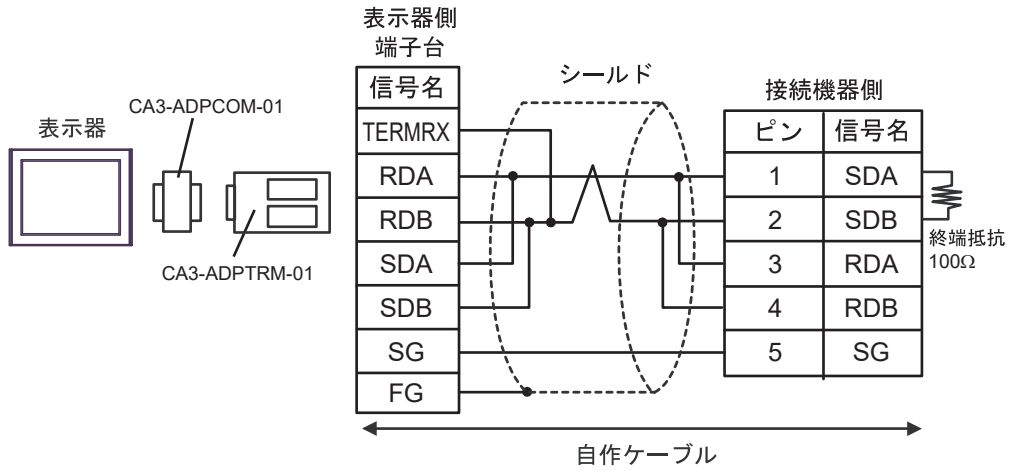
表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000* ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000* ² (COM2) LT3000 (COM1)	4A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	4B	自作ケーブル	
GP3000* ³ (COM2)	4C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	4D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC* ⁴	4E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	4F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	4G	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T* ⁵ (COM2) GP-4203T (COM1)	4H	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
GP4000* ⁶ (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000* ⁷ (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000* ⁸ (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	4I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1* ⁹ + 自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内
	4B	自作ケーブル	
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	4J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJR81	ケーブル長： 200m 以内

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
PE-4000B* ¹⁰ PS5000* ¹⁰ PS6000 (オプションイ ンターフェイス)* ¹⁰	4K	自作ケーブル	ケーブル長： 600m 以内

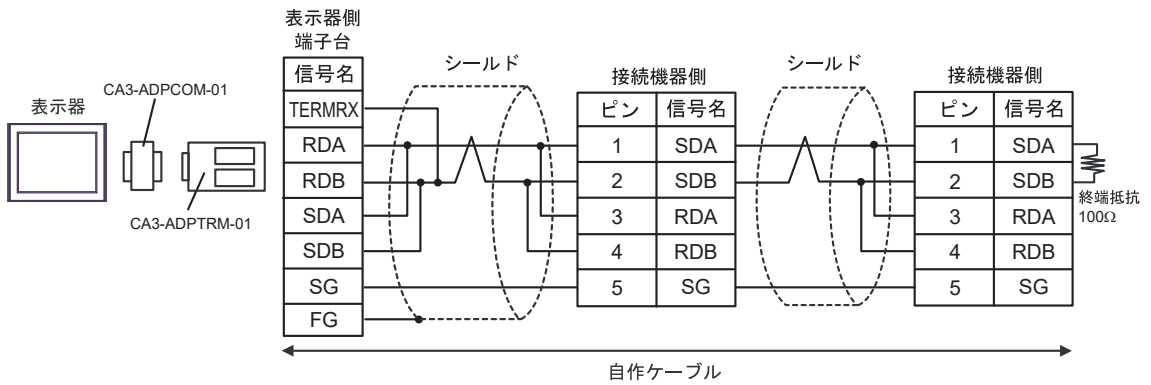
- *1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *2 AST-3211A および AST-3302B を除く
- *3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種
- *4 RS-422/485(2線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)
- *5 GP-4203T を除く
- *6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種
- *7 SP-5B00 を除く
- *8 ST-6200 を除く
- *9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、4A の結線図を参照してください。
- *10 RS-422/485(2線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)

4A)

- 1 : 1 接続の場合

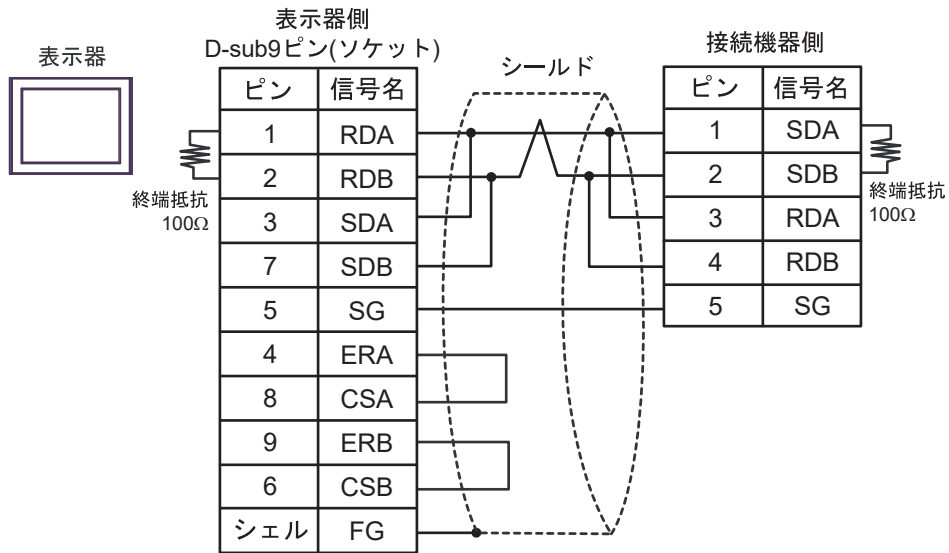


- 1 : n 接続の場合

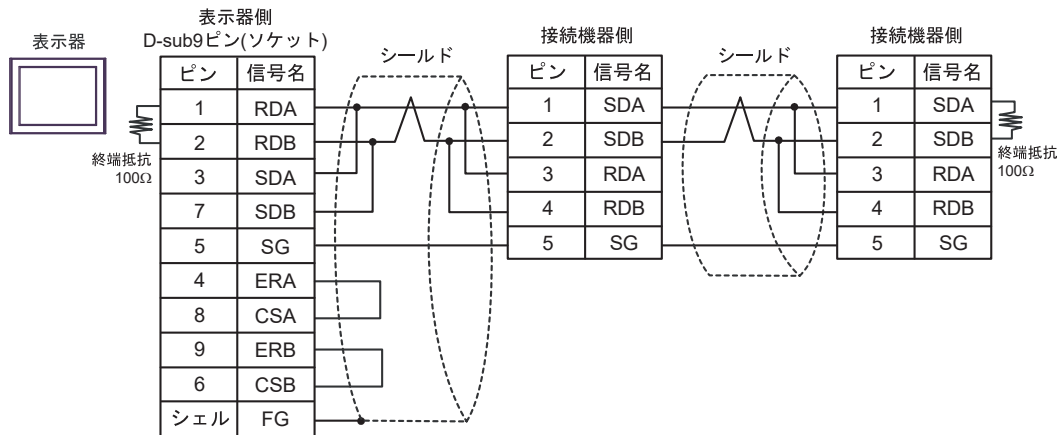


4B)

- 1 : 1 接続の場合

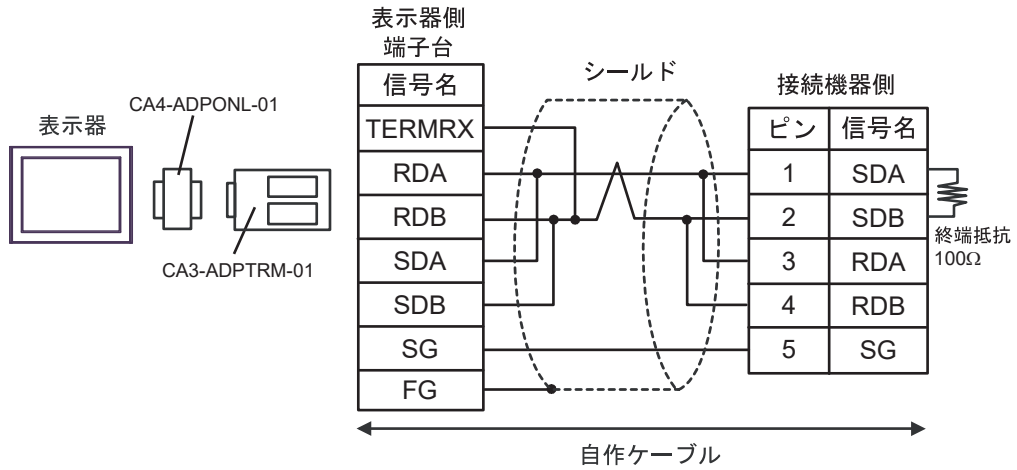


- 1 : n 接続の場合

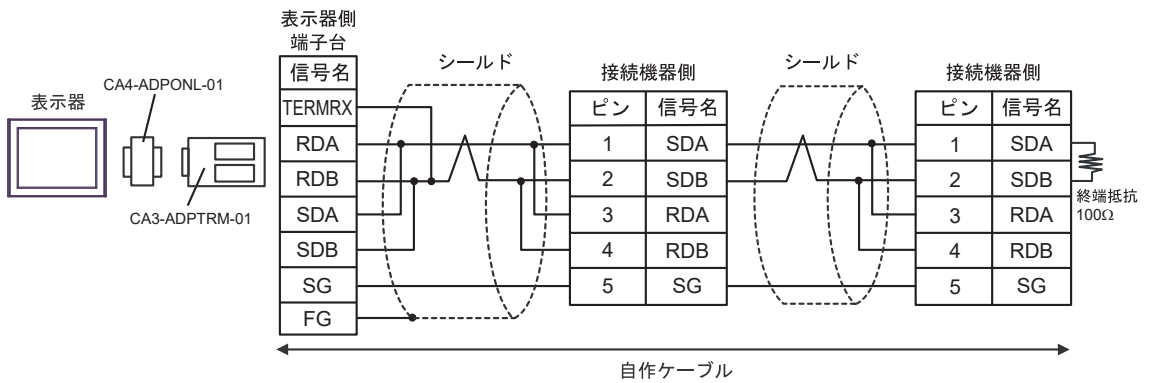


4C)

- 1 : 1 接続の場合

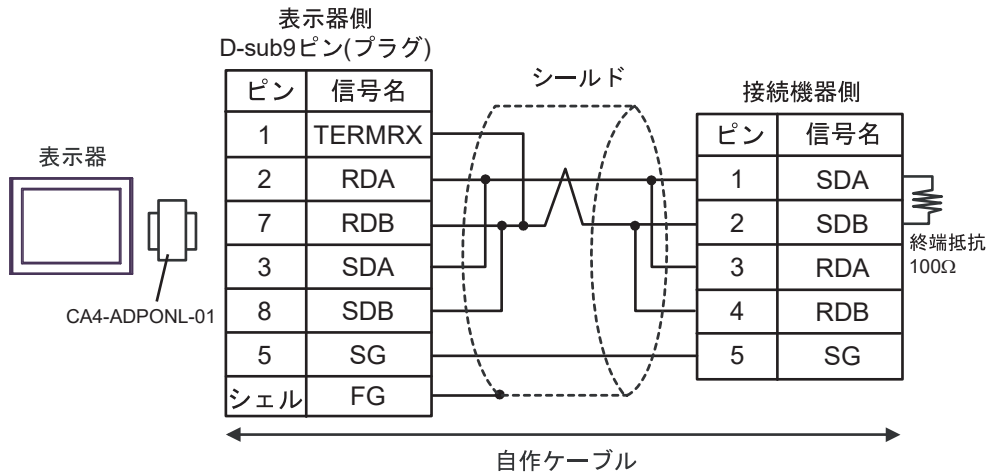


- 1 : n 接続の場合

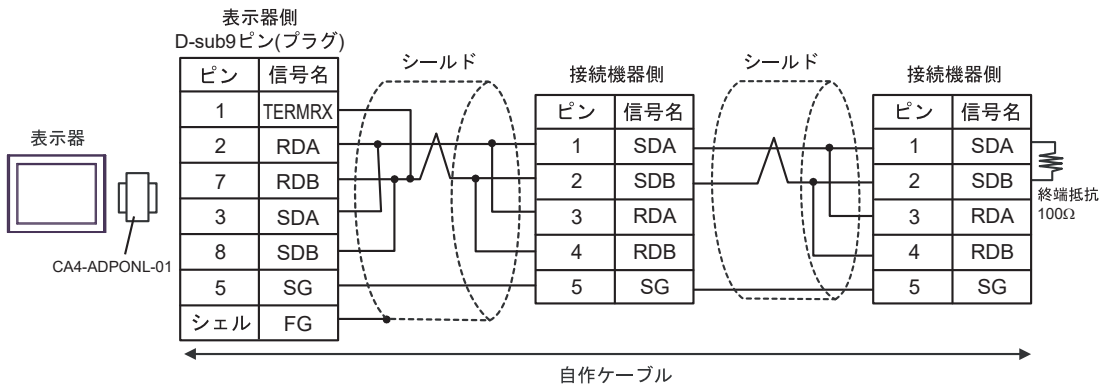


4D)

- 1 : 1 接続の場合

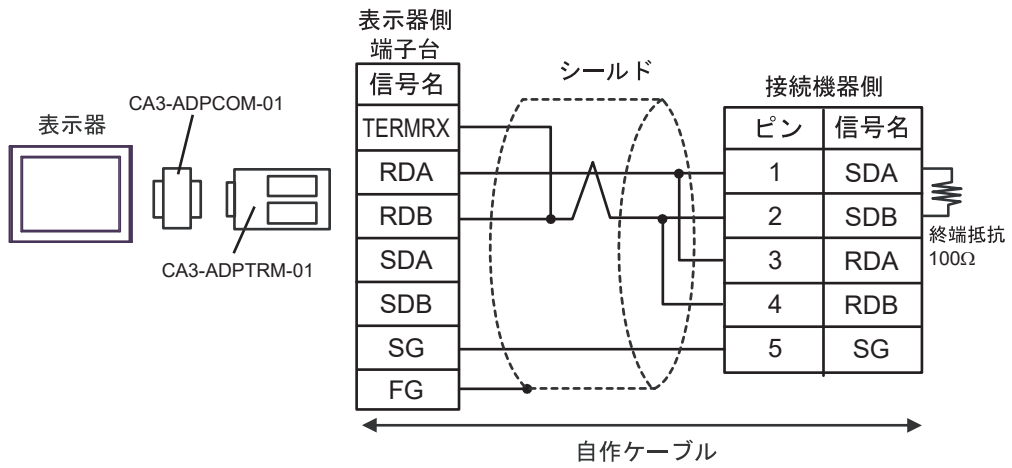


- 1 : n 接続の場合

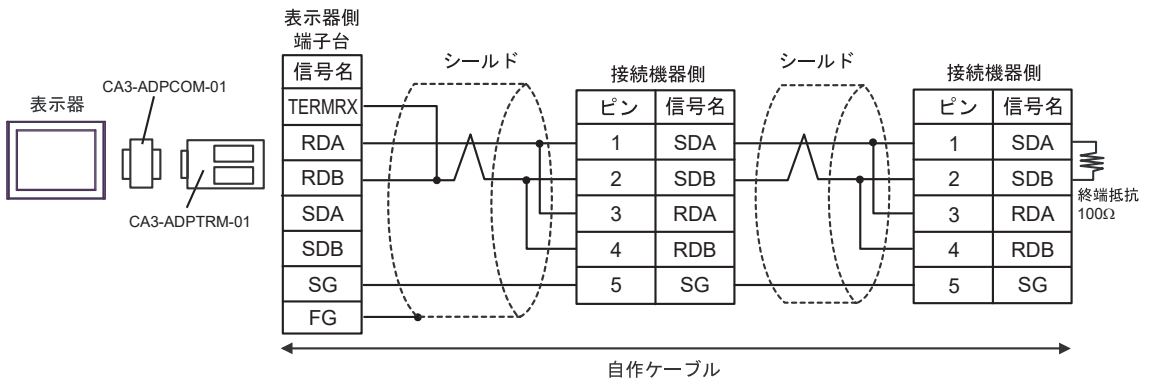


4E)

- 1 : 1 接続の場合

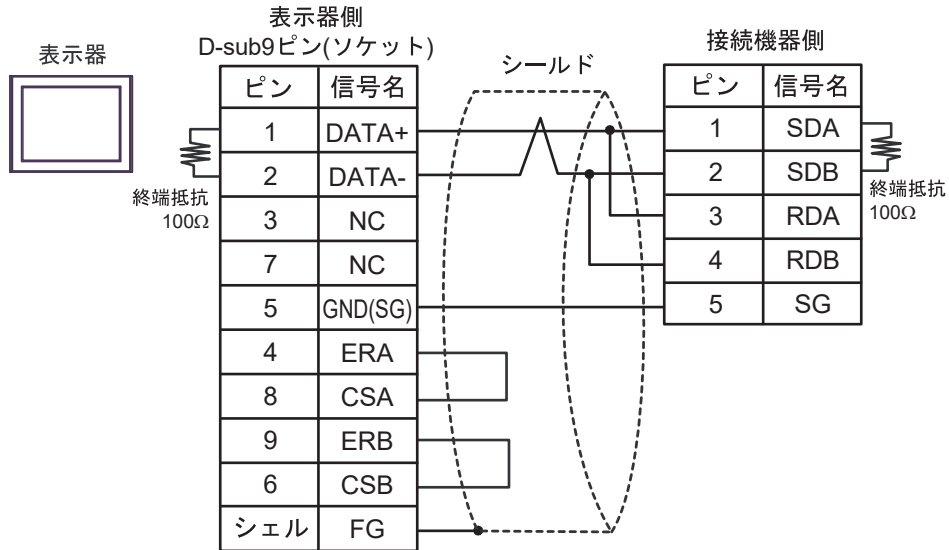


- 1 : n 接続の場合

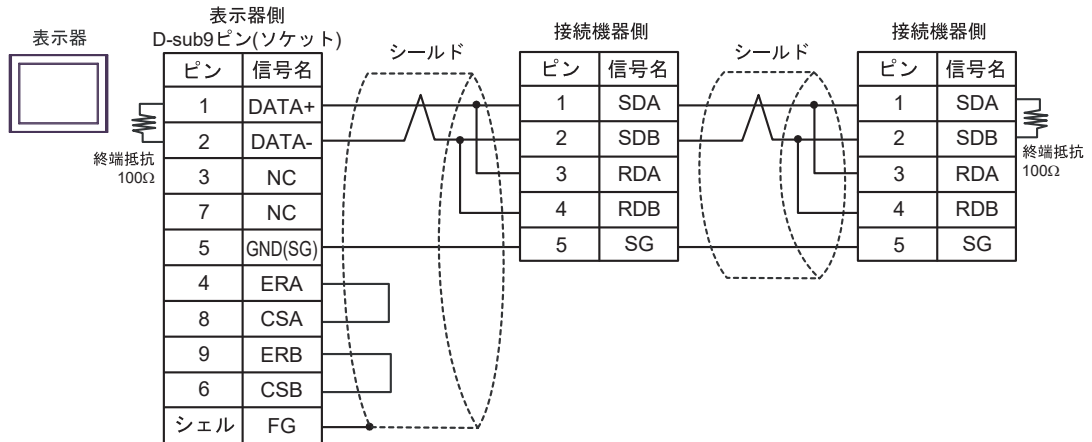


4F)

- 1:1 接続の場合

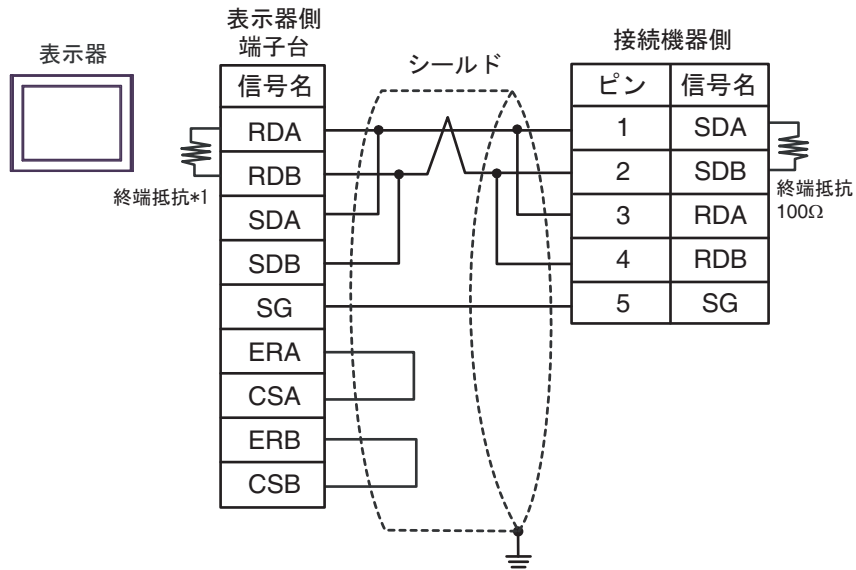


- 1:n 接続の場合

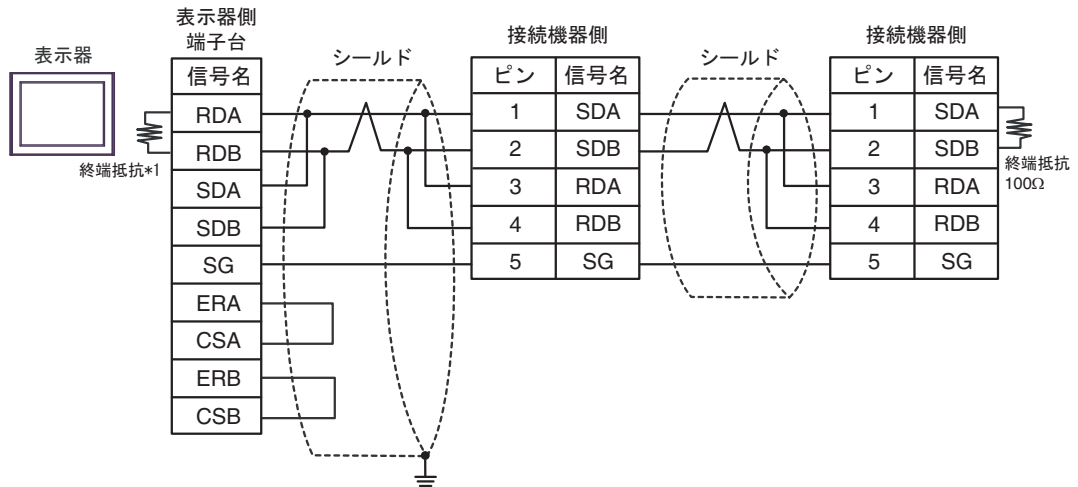


4G)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合

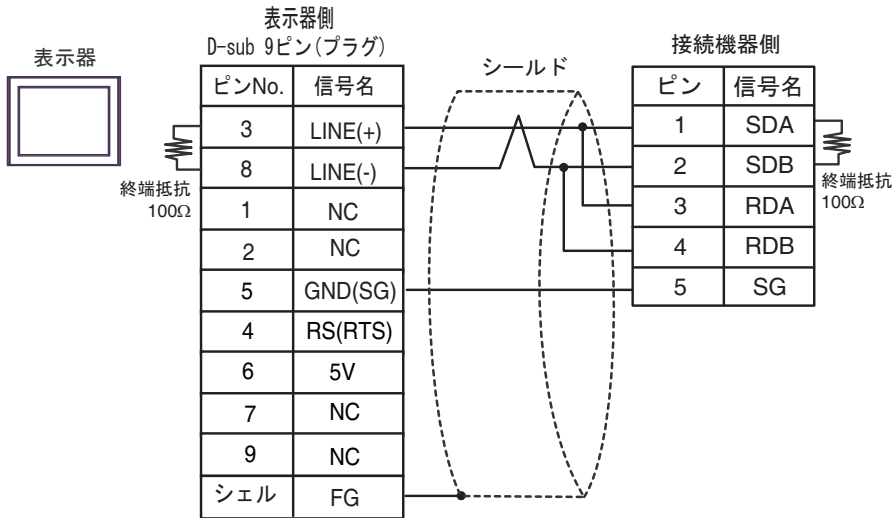


- *1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

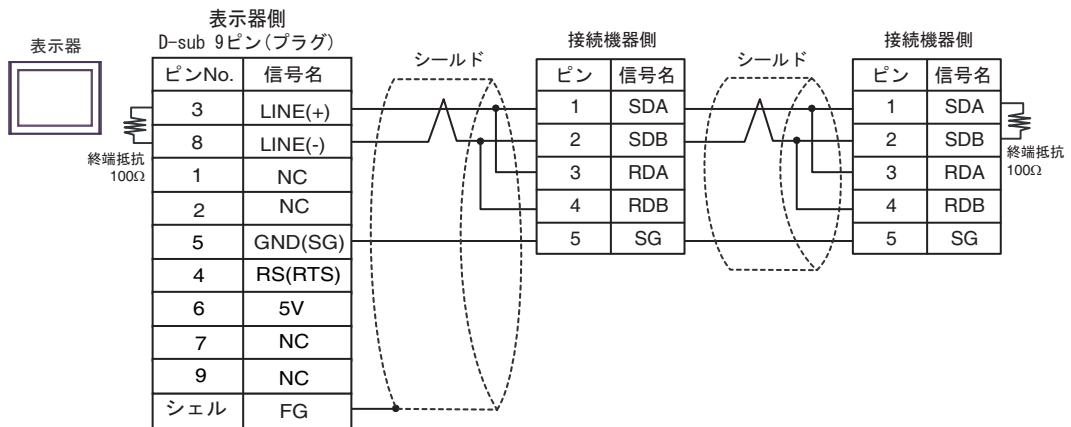
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

4H)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

**重要**

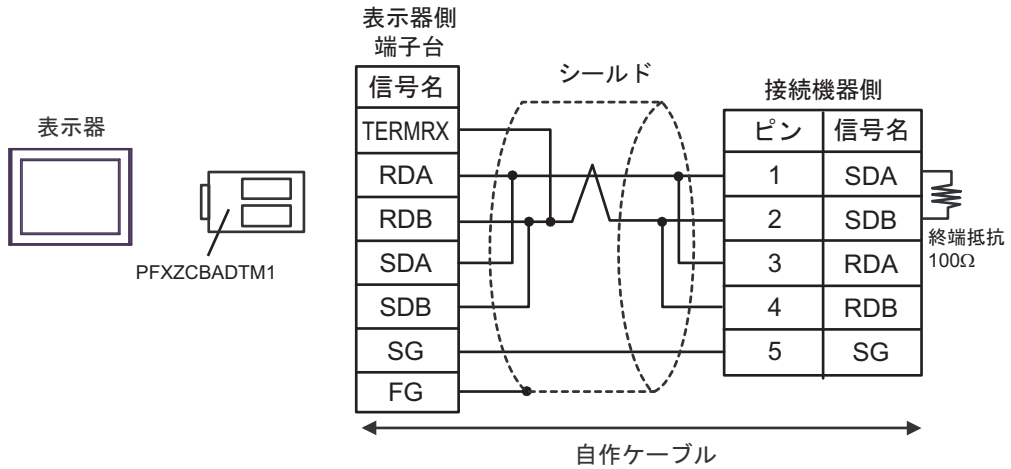
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

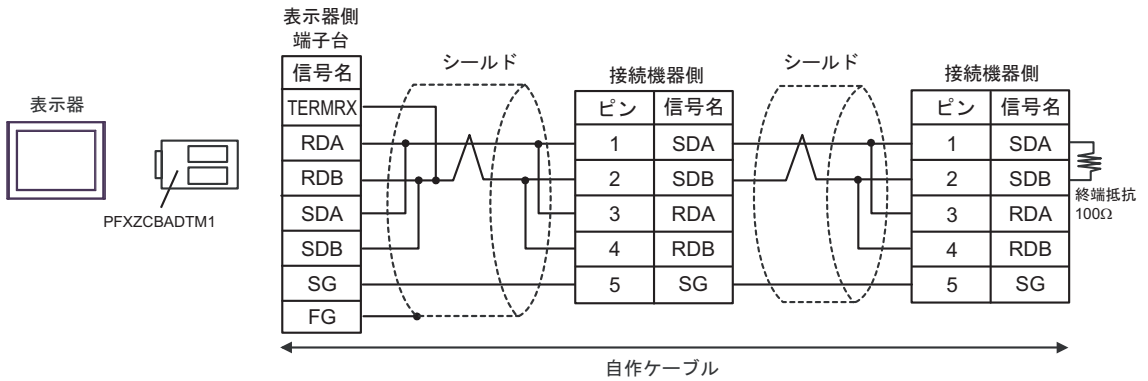
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

4)

- 1 : 1 接続の場合

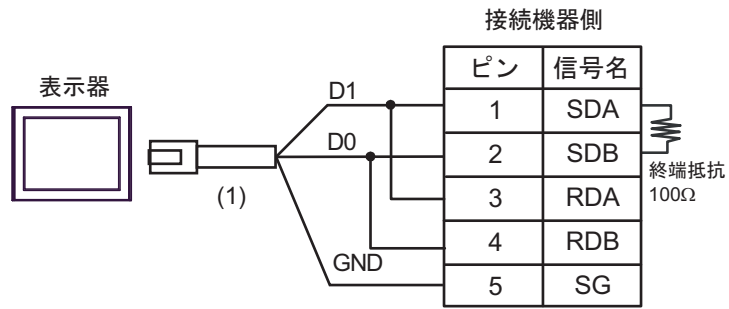


- 1 : n 接続の場合

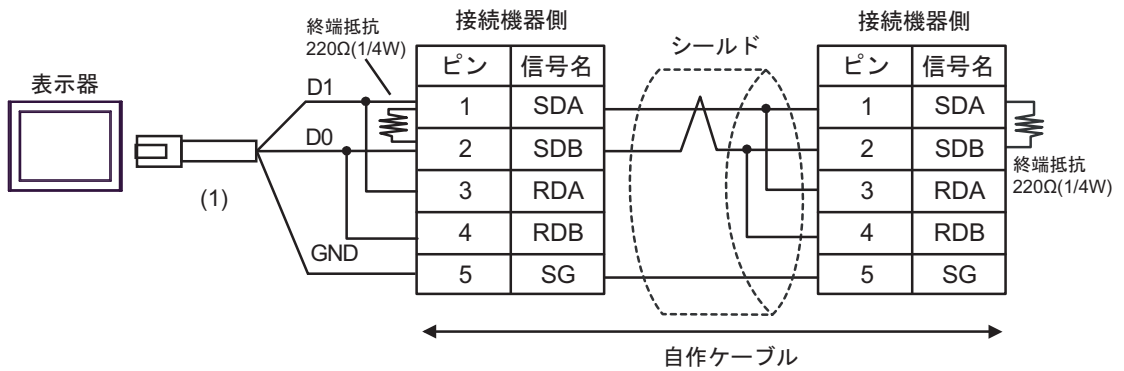


4J)

- 1:1 接続の場合



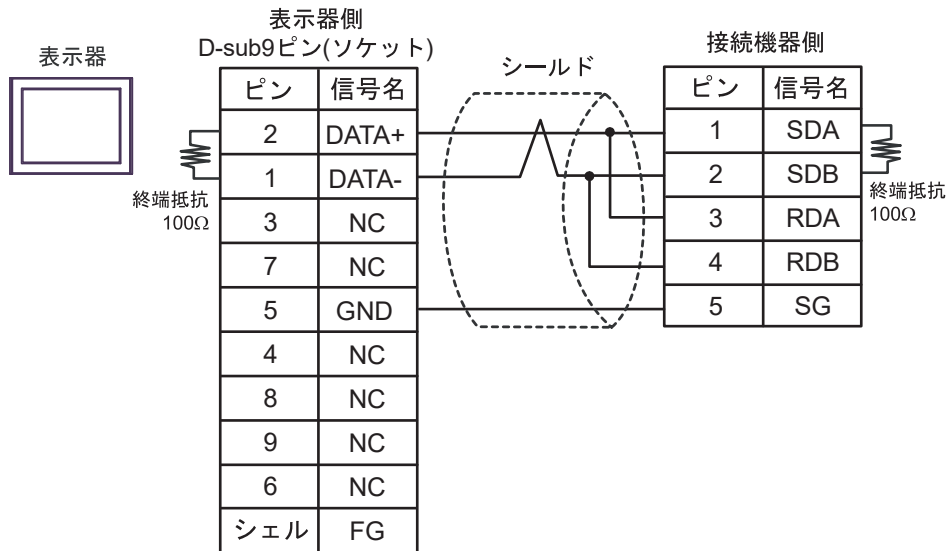
- 1:n 接続の場合



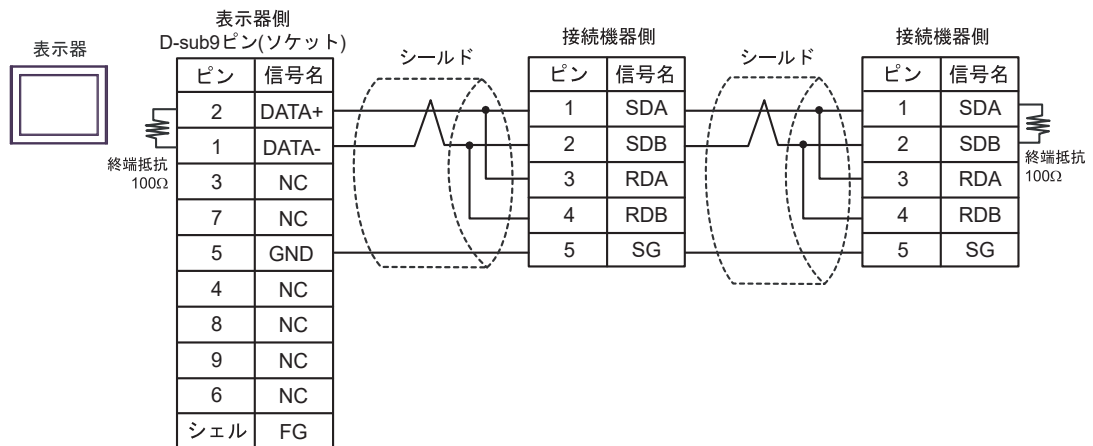
番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBRJ81	

4K)

- 1:1 接続の場合



- 1:n 接続の場合



結線図 5

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
GP3000* ¹ (COM1) AGP-3302B (COM2) GP-4*01TM (COM1) GP-Rear Module (COM1) ST3000* ² (COM2) LT3000 (COM1)	5A	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長：600m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内
	5B	自作ケーブル	
GP3000* ³ (COM2)	5C	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長：600m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内
	5D	(株) デジタル製オンラインアダプタ CA4-ADPONL-01 + 自作ケーブル	
IPC* ⁴	5E	(株) デジタル製 COM ポート変換アダプタ CA3-ADPCOM-01 + (株) デジタル製 コネクタ端子台変換アダプタ CA3-ADPTRM-01 + 自作ケーブル	ケーブル長：600m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内
	5F	自作ケーブル	
GP-4106 (COM1) GP-4116T (COM1)	5G	自作ケーブル	ケーブル長：600m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内
GP-4107 (COM1) GP-4*03T* ⁵ (COM2) GP-4203T (COM1)	5H	自作ケーブル	ケーブル長：600m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内
GP4000* ⁶ (COM2) GP-4201T (COM1) SP5000* ⁷ (COM1/2) SP-5B00 (COM2) ST6000* ⁸ (COM2) ST-6200 (COM1) STM6000 (COM1) STC6000 (COM1) PS6000 (ベーシック ボックス) (COM1/2)	5I	(株) デジタル製 RS-422 端子台変換アダプタ PFXZCBADTM1* ⁹ + 自作ケーブル	ケーブル長：600m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内
	5B	自作ケーブル	

表示器 (接続ポート)	ケーブル		備考
LT-4*01TM (COM1) LT-Rear Module (COM1)	5J	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	ケーブル長：200m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内
PE-4000B* ¹⁰ PS5000* ¹⁰ PS6000 (オプションイ ンターフェイス) * ¹⁰	5K	自作ケーブル	ケーブル長：600m 以 内 ただしマスターとス レーブの間は 10m 以 内

*1 AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*2 AST-3211A および AST-3302B を除く

*3 GP-3200 シリーズおよび AGP-3302B を除く全 GP3000 機種

*4 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。(PE-4000B、PS5000 および PS6000 を除く)
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)

*5 GP-4203T を除く

*6 GP-4100 シリーズ、GP-4*01TM、GP-Rear Module、GP-4201T および GP-4*03T を除く全 GP4000 機種

*7 SP-5B00 を除く

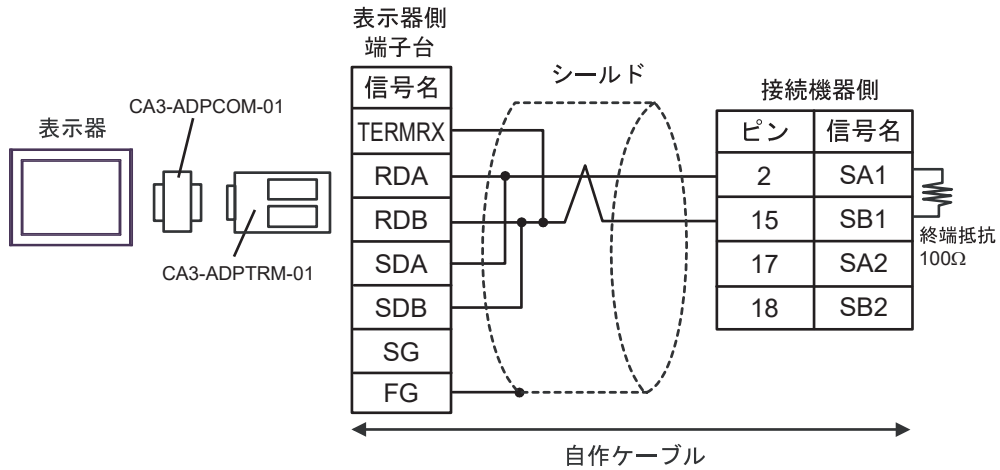
*8 ST-6200 を除く

*9 RS-422 端子台変換アダプタの代わりにコネクタ端子台変換アダプタ (CA3-ADPTRM-01) を使用する
場合、5A の結線図を参照してください。

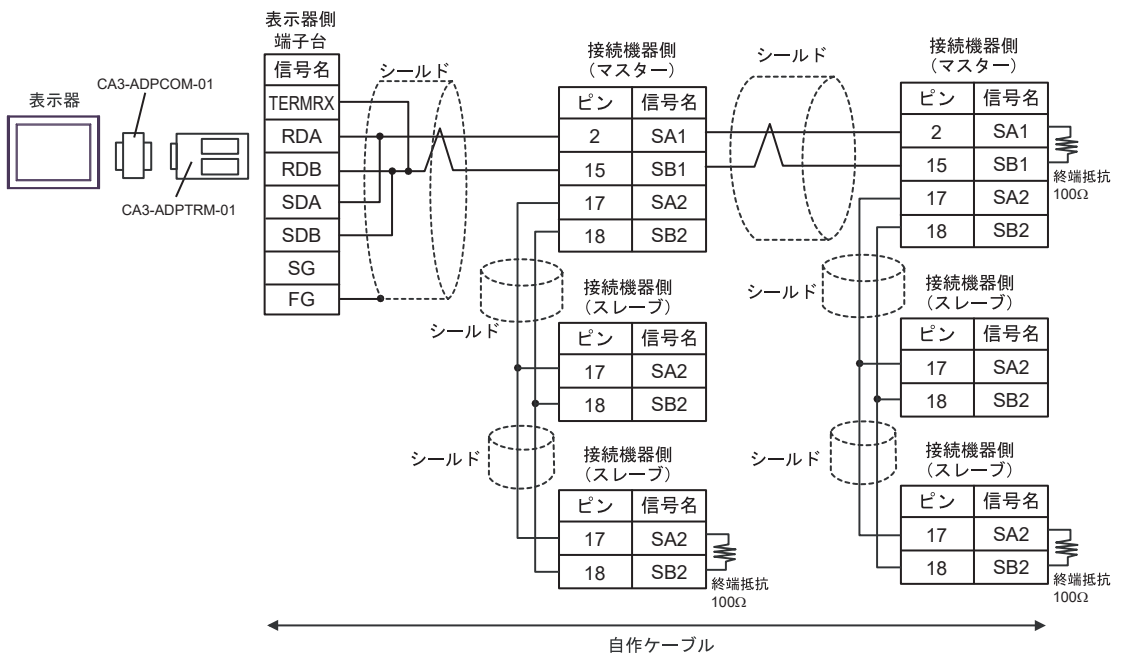
*10 RS-422/485(2 線式) で通信できる COM ポートのみ使用できます。
☞ 「■ IPC の COM ポートについて」 (6 ページ)

5A)

- 1 : 1 接続の場合



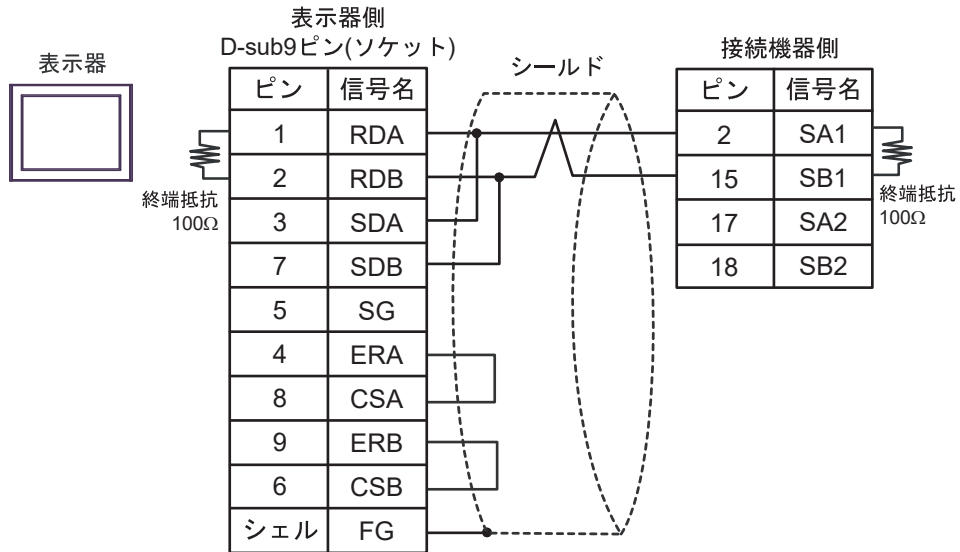
- 1 : n 接続の場合

**重要**

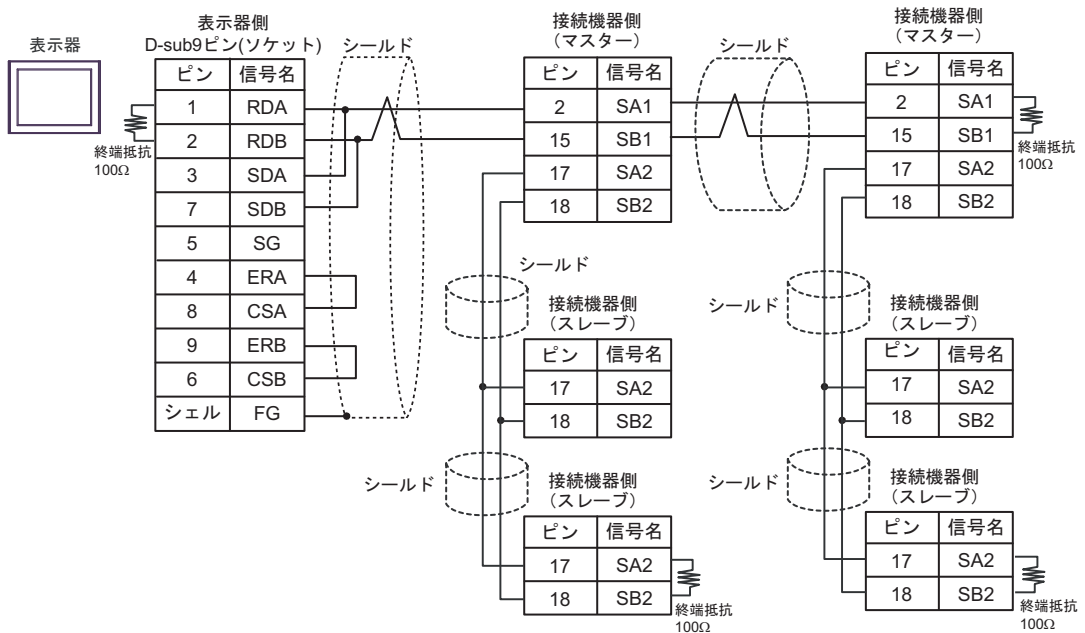
- スレーブスレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5B)

- 1:1 接続の場合



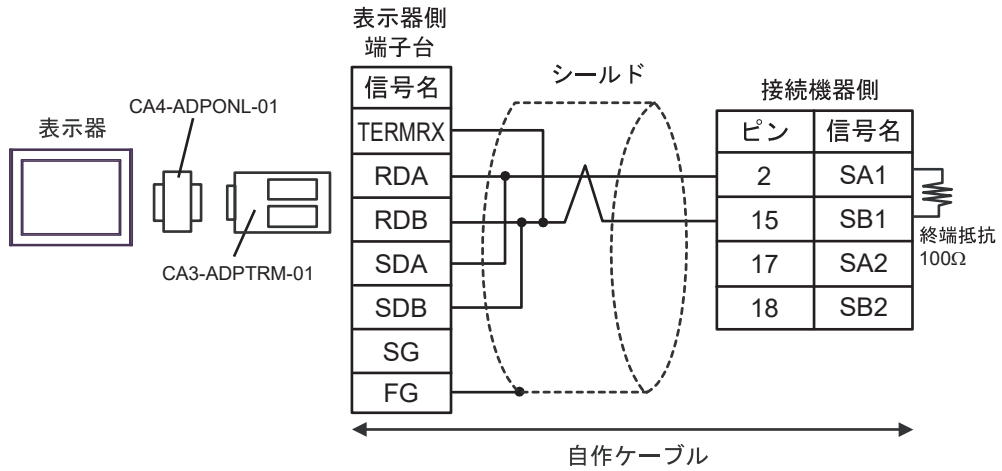
- 1:n 接続の場合

**重要**

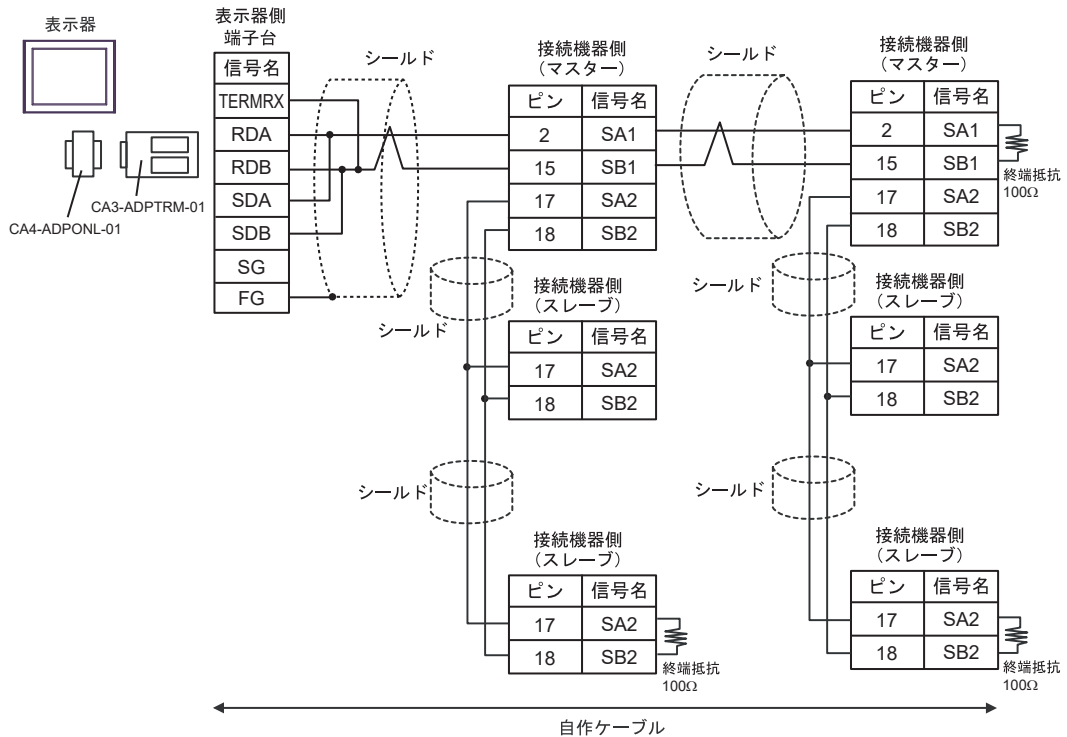
- スレーブ-スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5C)

- 1 : 1 接続の場合



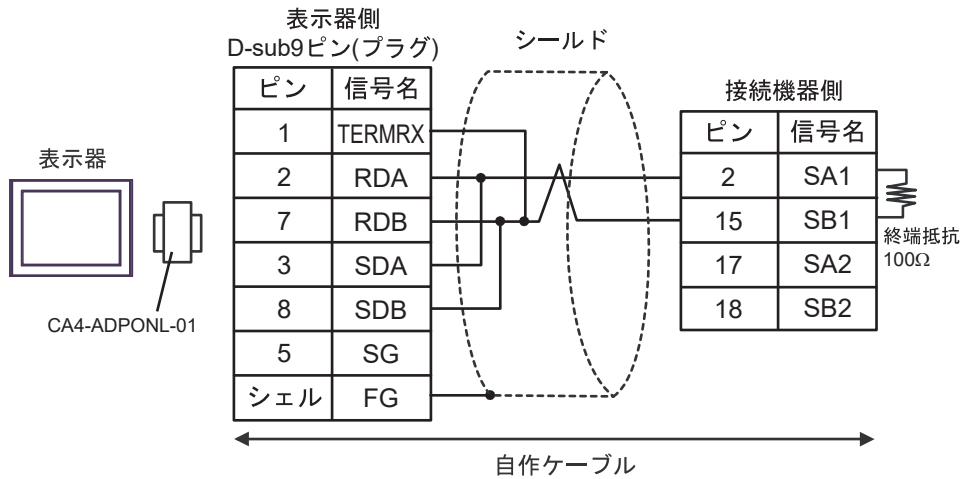
- 1 : n 接続の場合

**重要**

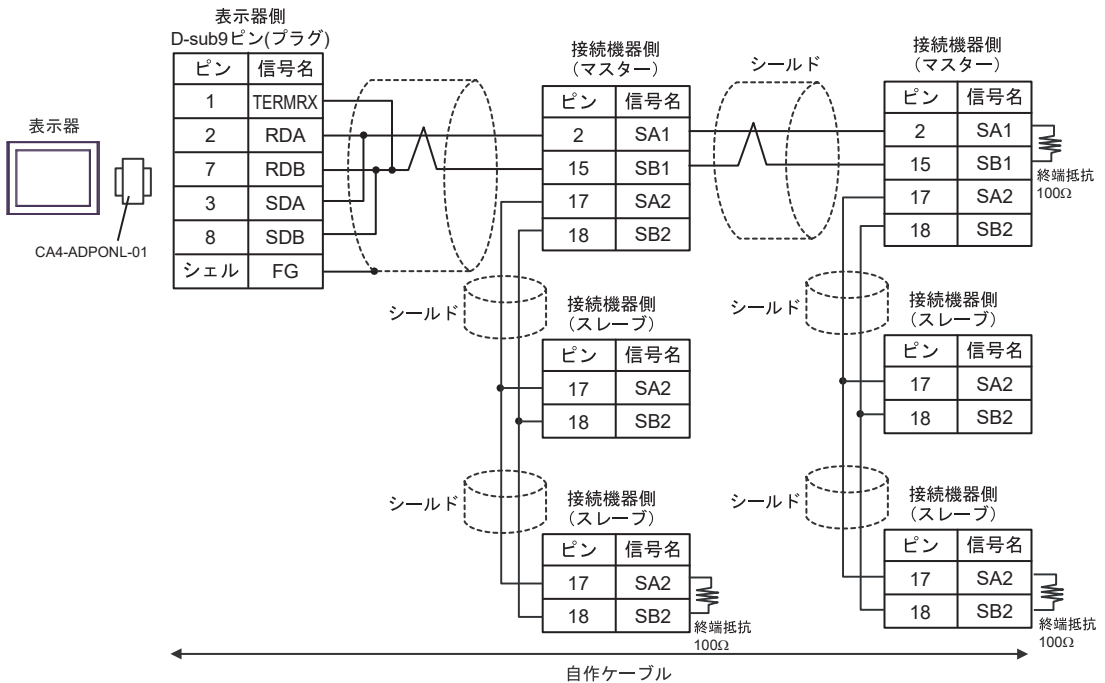
- スレーブスレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5D)

- 1 : 1 接続の場合



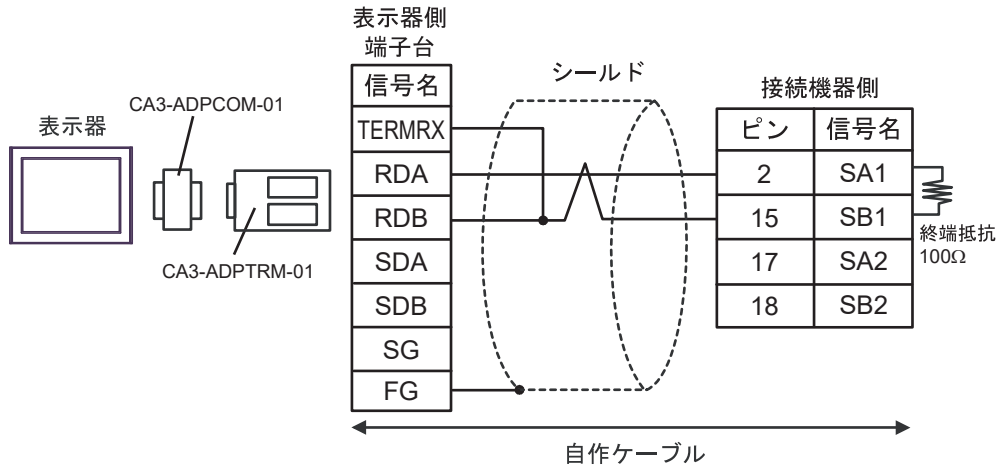
- 1 : n 接続の場合

**重要**

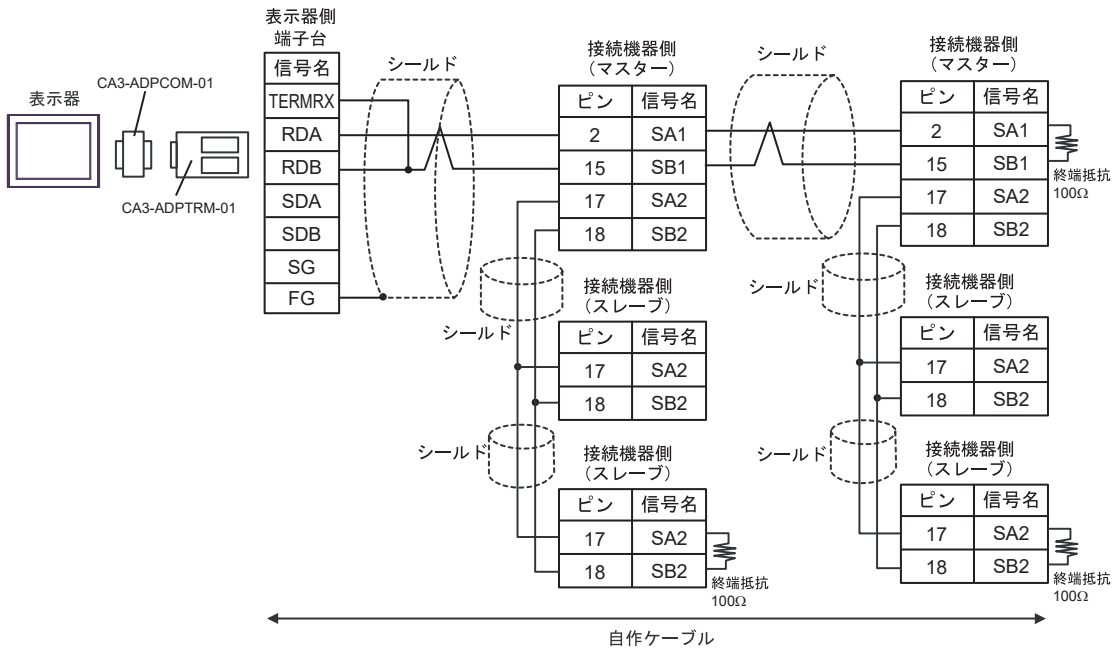
- スレーブ-スレーブ間には、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5E)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

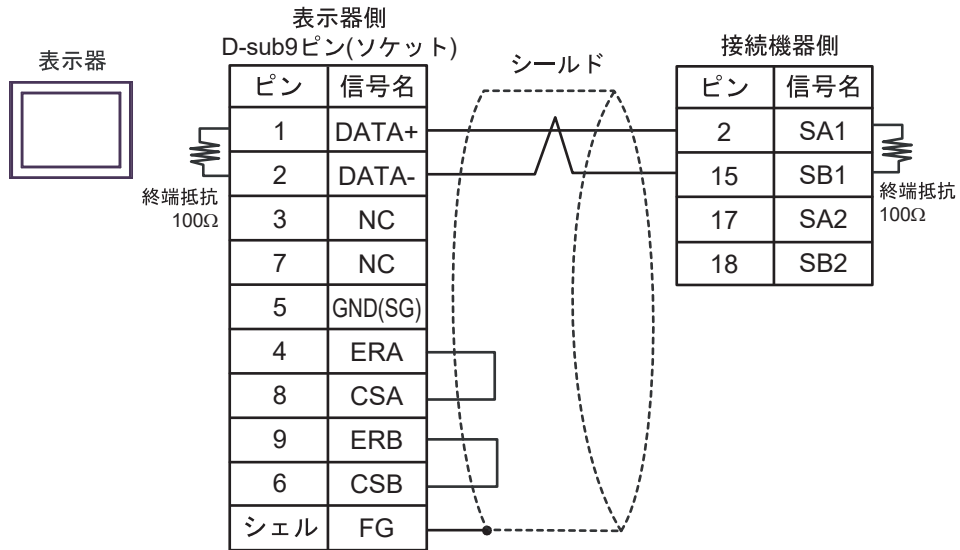


重要

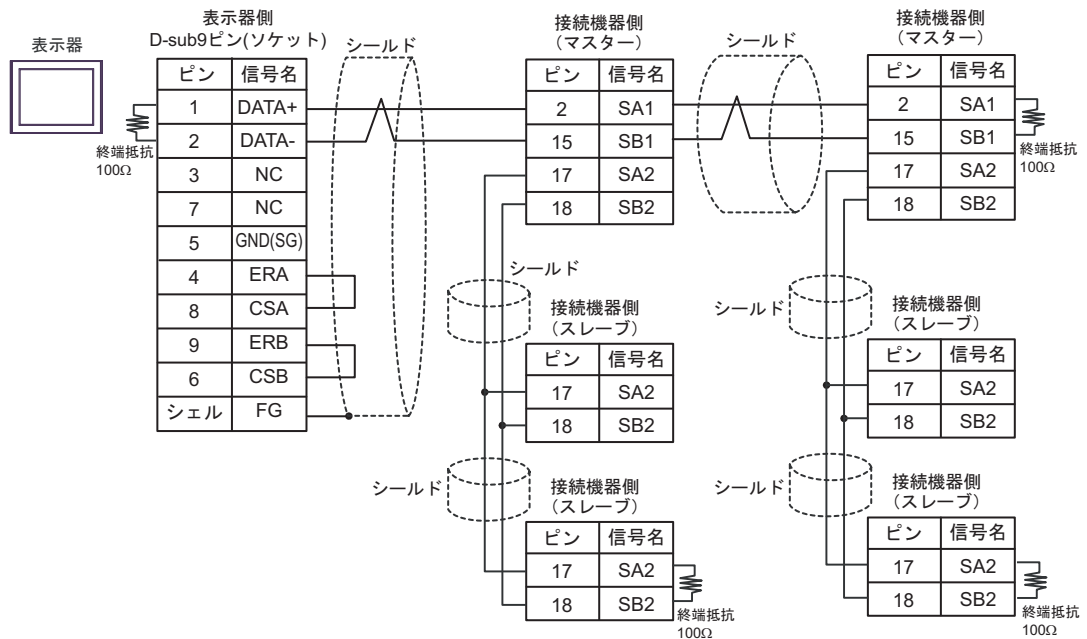
- スレーブスレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5F)

- 1:1 接続の場合



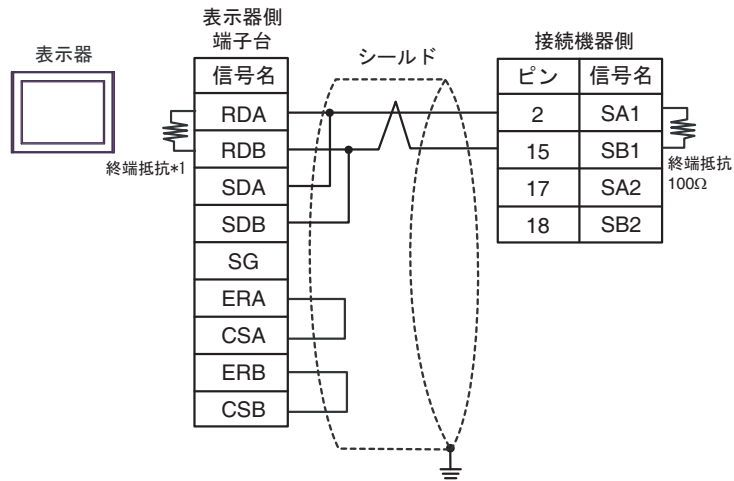
- 1:n 接続の場合

**重要**

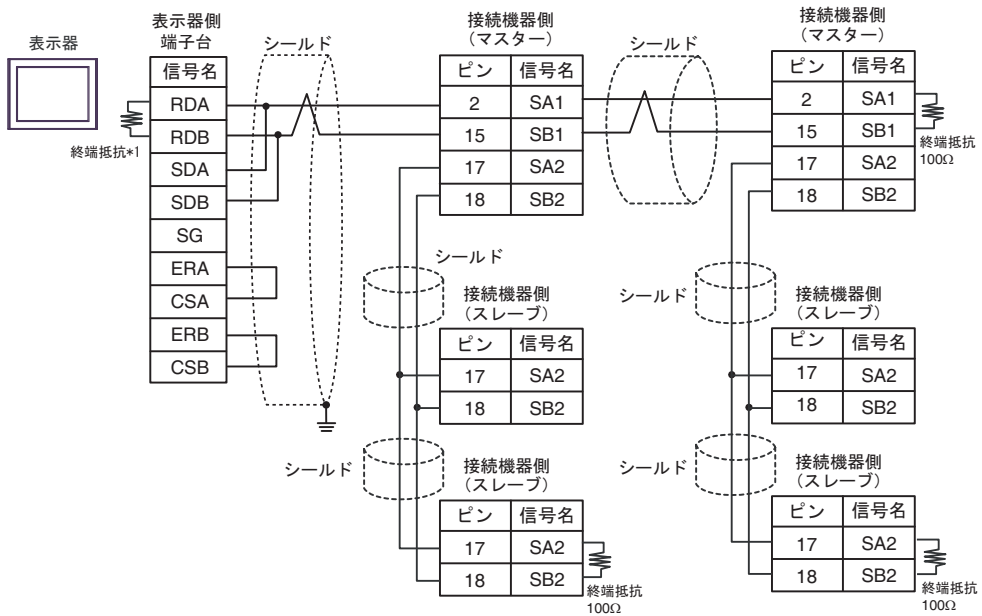
- スレーブ-スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5G)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合



重要

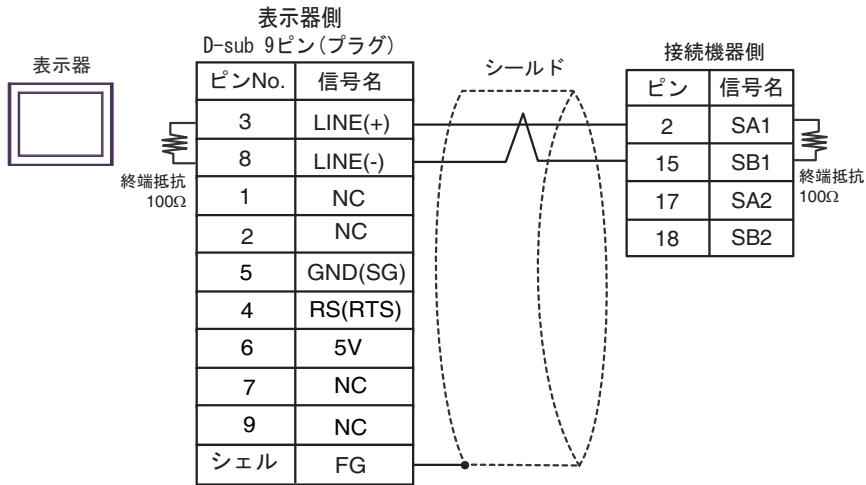
- スレーブ-スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

*1 表示器に内蔵している抵抗を終端抵抗として使用します。表示器背面のディップスイッチを以下のように設定してください。

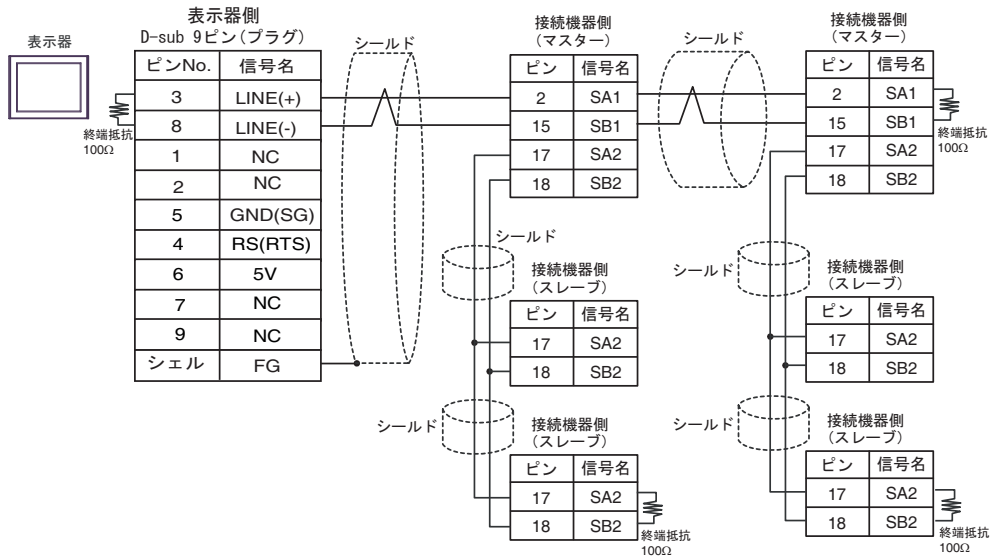
ディップスイッチ	設定内容
1	OFF
2	OFF
3	ON
4	ON

5H)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

**重要**

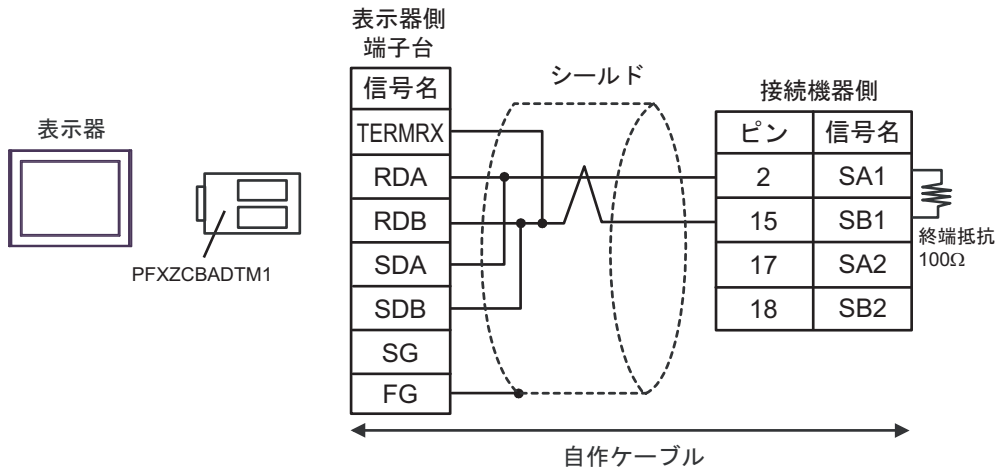
- スレーブスレーブ間は、上図のように17番、18番を結線します。
- 表示器の5V出力(6番ピン)はSiemens製PROFIBUSコネクタ用電源です。その他の機器の電源には使用できません。

MEMO

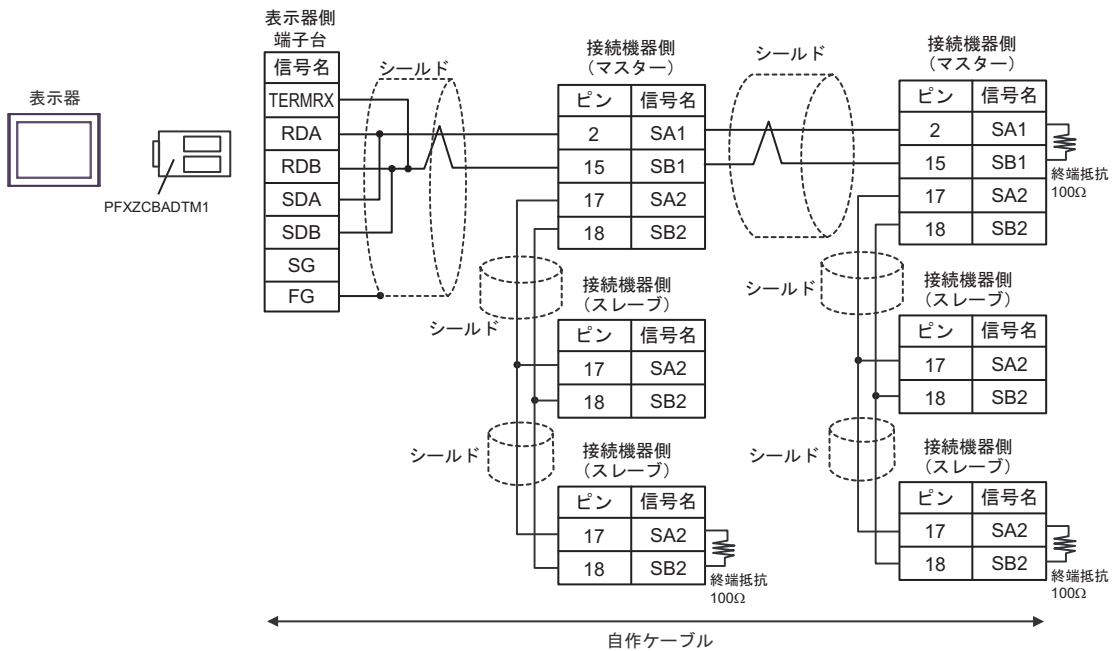
- GP-4107のCOMではSGとFGが絶縁されています。

5l)

- 1 : 1 接続の場合



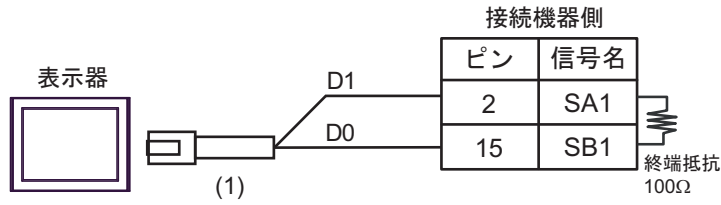
- 1 : n 接続の場合

**重要**

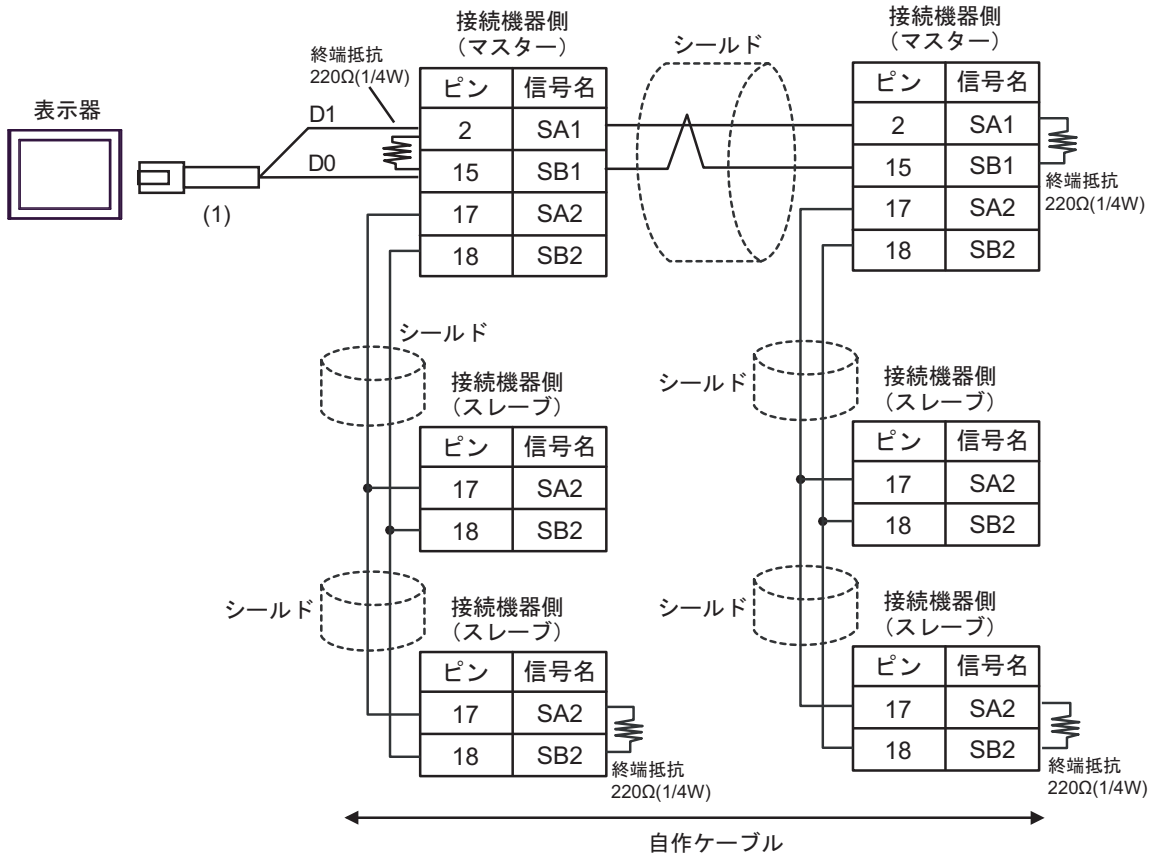
- スレーブスレーブ間には、上図のように 17 番、18 番を結線します。

5J)

- 1 : 1 接続の場合



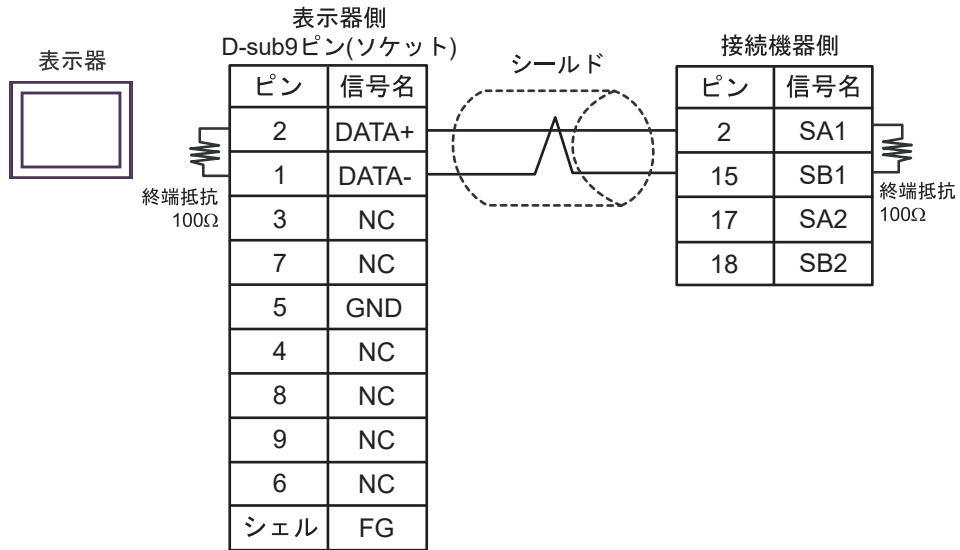
- 1 : n 接続の場合



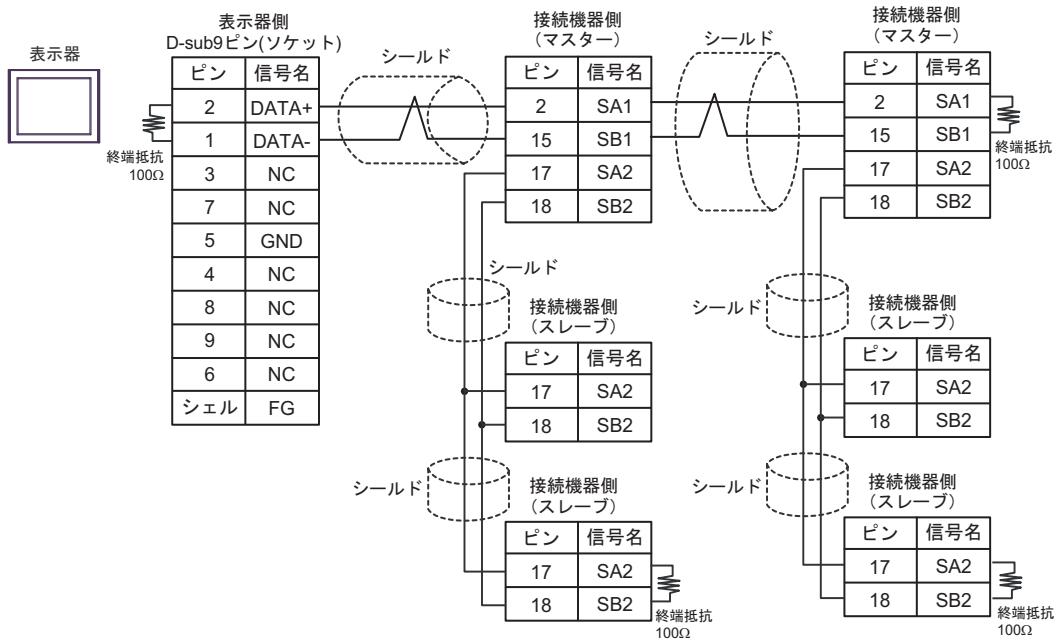
番号	名称	備考
(1)	(株) デジタル製 RJ45 RS-485 ケーブル (5m) PFXZLMCBJR81	

5K)

- 1 : 1 接続の場合



- 1 : n 接続の場合

**重要**

- スレーブ-スレーブ間は、上図のように 17 番、18 番を結線します。

6 使用可能デバイス

使用可能なデバイスアドレスの範囲を下表に示します。ただし、実際にサポートされるデバイスの範囲は接続機器によって異なりますので、ご使用の接続機器のマニュアルで確認してください。

接続機器のアドレスは以下のダイアログで入力します。



1. アドレス アドレスを入力します。
2. 参照 使用できるパラメータのリストが表示されます。
使用するパラメータをクリックして「選択」を押すと、アドレスが入力されます。

調節計のデータには小数点付きのものがあります。
表示器では小数点付きのデータを以下のように扱います。

< 読出しの場合 >

調節計からの読出しデータは小数点なしの整数にした値になります。

例) 調節計の値が 100.0 であった場合

調節計の値 : 100.0

表示器で表示する値 (小数点なしの設定) : 1000

データ表示器で小数点を表示する場合は「表示設定」タブの「小数点桁数」の設定で行います。
例えば、調節計のデータの仕様が小数点 1 桁目であれば「小数点桁数」を 1 とします。

例) 調節計の値が 100.0 であった場合

調節計の値 : 100.0

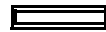
表示器で表示する値 (小数点なしの設定) : 1000




表示器で表示する値 (小数点 1 桁の設定) : 100.0

< 書込みの場合 >

調節計の書込みの場合は設定する値を小数点なしの整数にします。

6.1 DB1000 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-	H/L	
	00111			
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		*1
アナログ入力データ	-	30101 - 30143		 *1
アナログ設定値	-	40001 - 40596 ^{*2}		
運転状態設定		49056 - 49512		

*1 書込み不可。

*2 40151 は書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。
読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。




参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.2 DB2000 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-	H/L	
	00111			
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		*1
アナログ入力データ	-	30101 - 30143		 *1
アナログ設定値	-	40001 - 40650 ^{*2}		
運転状態設定		49056 - 49536		

*1 書込み不可。

*2 40151 は書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。
読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。





参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.3 KP1000 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-	 H/L	
	00111			
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		*1
アナログ入力データ	-	30101 - 30144		 Bit 15 *1
アナログ設定値	-	40001 - 40650 ^{*2}		 Bit 15
パターン設定		49003 - 49534 ^{*3}		 Bit 15

*1 書込み不可。

*2 40151 は書込み不可。

*3 49040 は書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。
読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。





参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.4 KP2000 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-		
	00111			
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		*1
アナログ入力データ	-	30101 - 30144		 *1
アナログ設定値	-	40001 - 40650 ^{*2}		
パターン設定		49003 - 49536 ^{*3}		

*1 書込み不可。

*2 40151 は書込み不可。

*3 49040 は書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。
読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.5 KP3000 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル入力データ	10005	-		*1
アナログ入力データ	-	30109 - 30144		 *1
アナログ設定値	-	40008 - 40574 ^{*2}		
パターン設定		49003 - 49534 ^{*3}		

*1 書込み不可。

*2 40151 は書込み不可。

*3 49040 は書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。
読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。




参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.6 LT230 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-		*1
デジタル入力データ	10004 - 10120	-		*2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		 *2
アナログ設定値	-	40008 ^{*3}		 *1
		40114 - 40119		
		40201 - 40251		
		49501 - 49512		

*1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック 4 に設定する必要があります。ロック 4 以外で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

*2 書込み不可。

*3 40008 は書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み取りエリアサイズのみです。
読み取りエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。




参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.7 LT300 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-		*1
デジタル入力データ	10004 - 10122	-		*2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		 *2
アナログ設定値	-	40008 ^{*3}		 *1
		40114 - 40119		
		40201 - 40251		
		49501 - 49512		

*1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック 4 に設定する必要があります。ロック 4 以外で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

*2 書込み不可。

*3 40008 は書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み取りエリアサイズのみです。
読み取りエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。


参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.8 LT400 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101 - 00109	-	H/L	*1
デジタル入力データ	10002 - 10124	-		*2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		 *2
アナログ設定値	-	40001 - 40093		H/L
		40112 - 40166		
		40201 - 40388		
		49501 - 49512		

*1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック 4 に設定する必要があります。ロック 4 以外で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

*2 書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。
読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.9 LT830 シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	00101	-	H/L	*1
デジタル入力データ	10004 - 10120	-		*2
アナログ入力データ	-	30101 - 30142		 *2
アナログ設定値	-	40008 ^{*3}		 *1
		40114 - 40119		
		40201 - 40211		
		49501 - 49512		

*1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック 3 に設定する必要があります。ロック 3 以外で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

*2 書込み不可。

*3 40008 は書込み不可。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。
読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.10 調節機能付き JU シリーズ

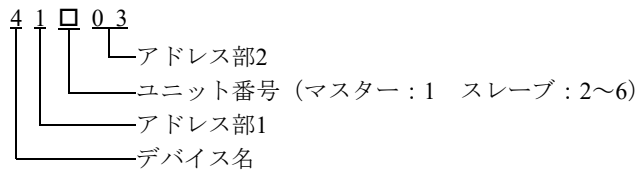
□□□□ はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考			
デジタル設定値	00101 - 00106	-	H/L	*1			
	01102 - 01612 ^{*2}						
デジタル入力データ	10002 - 10122	-		H/L	*3		
	11109 - 11614 ^{*2}						
アナログ入力データ	-	30101 - 30142			H/L	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</div> *3	
		31101 - 31612 ^{*2}					
		39001 - 39080					
アナログ設定値	-	40001 - 40384				H/L	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Bit 15</div> *1
		41102 - 41672 ^{*2}					
		48111 - 48618 ^{*2}					
		49501 - 49525					

*1 書き込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック 4 に設定する必要があります。ロック 4 以外で書き込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

*2 操作端機能 (01102 - 01612)、操作端機能部 (11109 - 11614)、操作端測定データ (31101 - 31612)、操作端パラメータ (41102 - 41672 / 48111 - 48618) については、アドレスを次の形式で指定します。

<例>エレベーション (41□03)



*3 書き込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。



参照: GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

☞「表記のルール」

6.11 単相 JU シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	01001 - 01013	-	H/L	*1
デジタル入力データ	11001 - 11015	-		*2
アナログ入力データ	-	31101 - 31112		 *2
アナログ設定値	-	41001 - 41013		 *1
		49501		

*1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック状態に設定する必要があります。アンロック状態で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。


*2 書込み不可。

MEMO


- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。



参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

6.12 JW シリーズ

 はシステムデータエリアに指定できます。

デバイス	ビットアドレス	ワードアドレス	32bits	備考
デジタル設定値	01001 - 01014	-	H/L	*1
デジタル入力データ	11001 - 11019	-		*2
アナログ入力データ	-	31101 - 31182		 *2
アナログ設定値	-	41001 - 41018		 *1
		49501		

*1 書込みを行う場合、接続機器のキーロックをロック状態に設定する必要があります。アンロック状態で書込みを行った場合、通信エラーが表示されます。

*2 書込み不可。

MEMO

- 調節計で使用できるシステムエリア設定は読み込みエリアサイズのみです。読み込みエリアサイズについては GP-Pro EX リファレンスマニュアルを参照してください。

参照 : GP-Pro EX リファレンスマニュアル「LS エリア (ダイレクトアクセス方式専用エリア)」

- 表中のアイコンについてはマニュアル表記上の注意を参照してください。

 「表記のルール」

7 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードはデータ表示器などのアドレスタイプで「デバイスタイプ&アドレス」を設定している場合に使用します。

デバイス	デバイス名	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
アナログ入力データ	3	0001	ワードアドレス
アナログ設定値	4	0000	ワードアドレス

8 エラーメッセージ

エラーメッセージは表示器の画面上に「番号:機器名:エラーメッセージ(エラー発生箇所)」のように表示されます。それぞれの内容は以下のとおりです。

項目	内容
番号	エラー番号
機器名	エラーが発生した接続機器の名称。接続機器名は GP-Pro EX で設定する接続機器の名称です。(初期値 [PLC1])
エラーメッセージ	発生したエラーに関するメッセージを表示します。
エラー発生箇所	<p>エラーが発生した接続機器の IP アドレスやデバイスアドレス、接続機器から受信したエラーコードを表示します。</p> <p>MEMO</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスは「IP アドレス (10 進数):MAC アドレス (16 進数)」のように表示されます。 デバイスアドレスは「アドレス:デバイスアドレス」のように表示されます。 受信エラーコードは「10 進数 [16 進数]」のように表示されます。

エラーメッセージの表示例

「RHAA035:PLC1: 書き込み要求でエラー応答を受信しました (受信エラーコード:2[02H])」

MEMO

- 受信したエラーコードの詳細は、接続機器のマニュアルを参照してください。
- ドライバ共通のエラーメッセージについては「保守/トラブル解決ガイド」の「表示器で表示されるエラー」を参照してください。

■ 接続機器特有のエラーコード

接続機器特有のエラーコードは、以下のようになります。

エラーコード	内容
18 (12H)	<p>設定不可^{*1}</p> <ul style="list-style-type: none"> キー設定がロックされていないとき。 形式により選択できない項目を設定しようとしたとき。

*1 設定不可となる原因は接続機器により異なります。詳細は接続機器のマニュアルを参照してください。

